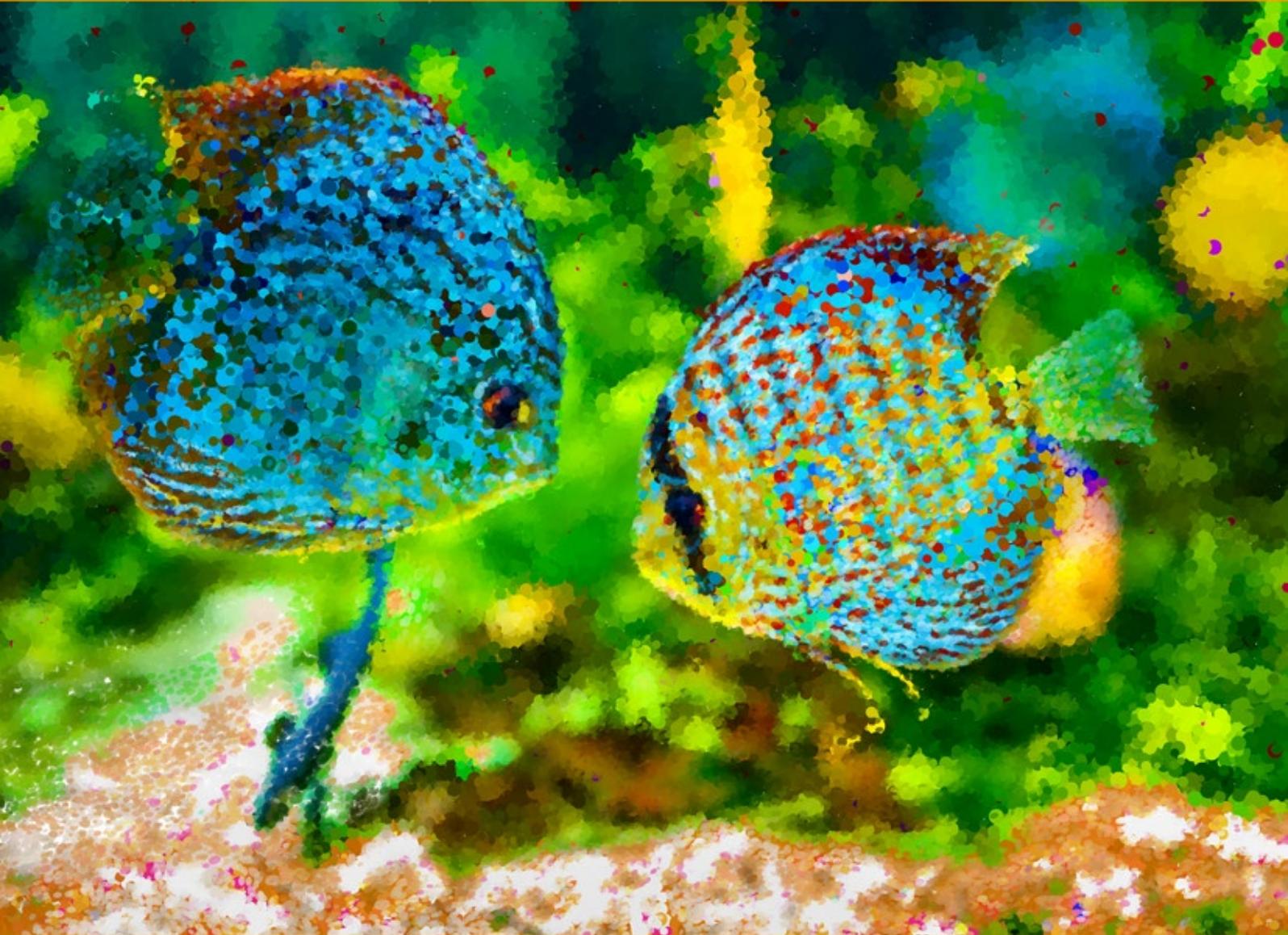




# Points

写真に点描画法の効果を適用!



---

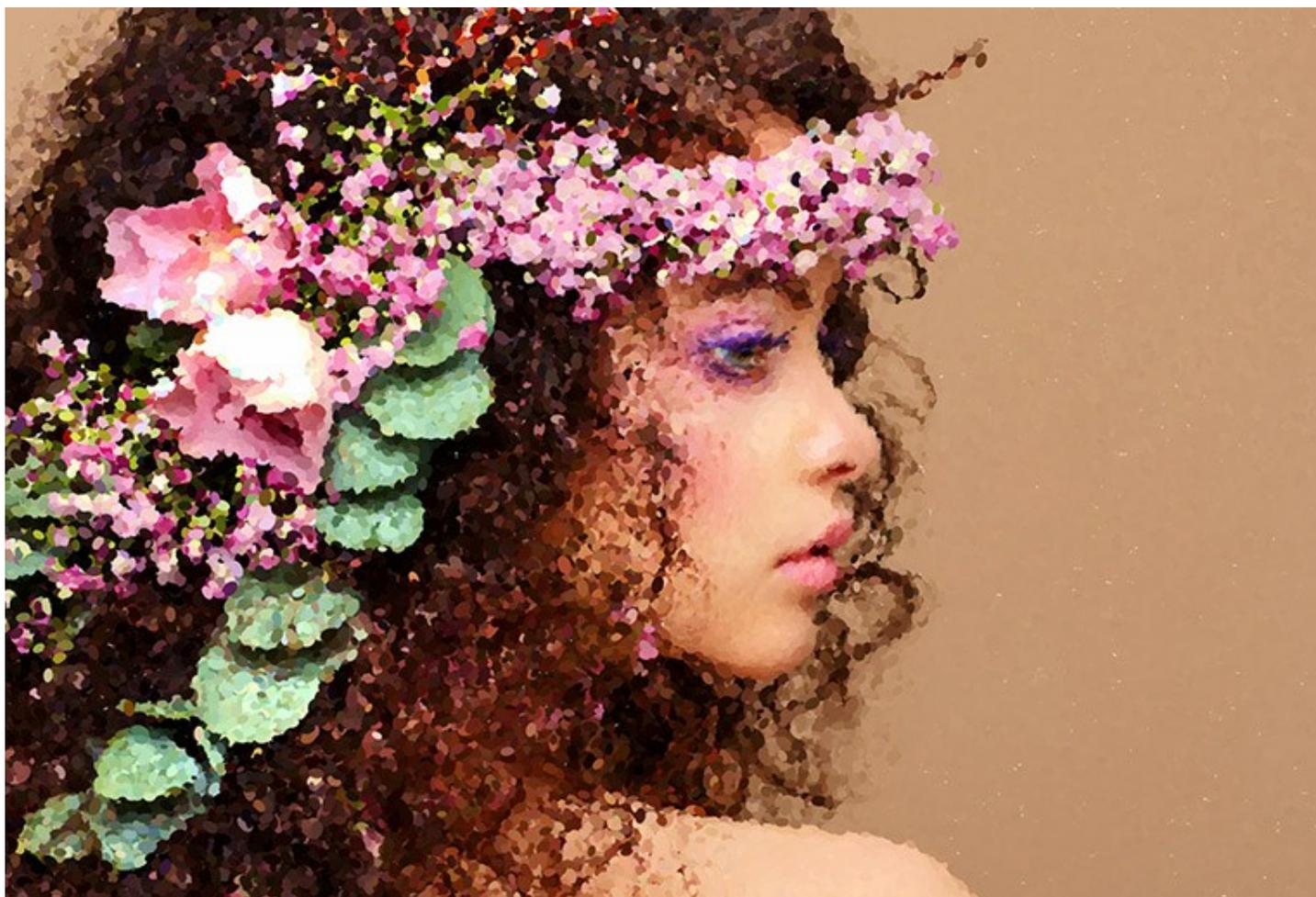
## CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- プログラムの登録
- ライセンス比較
- ワークスペース
- 操作方法
- 点描効果
- タイムライン
- ツールバー
- キャンバス
- フレーム
- テキスト
- プリセット
- 環境設定
- バッチ処理
- 印刷
- 朝日の昇る風景
- 秋の公園の美しい花嫁
- AKVISプログラム

## 点描

AKVIS Points は、写真を点描画法を用いた絵画に変換してくれます。

**点描** とは、線ではなく点を用いた技法です。この技法は、印象派から派生したものです。複雑な色合いが個々の色に分解され、純色の小さな点を使用したストロークが描かれます。点の光混合により、絵画全体が絵としてとらえられるようになります。



コンピューター画面で画像を表示するときと同じ仕組みです。つまり、ピクセルは点描画の1つ1つの点と同じです。

AKVIS Points ソフトウェアを使用すると、**点描** 技術を使用して、素晴らしい作品を簡単に作り出すことができます。

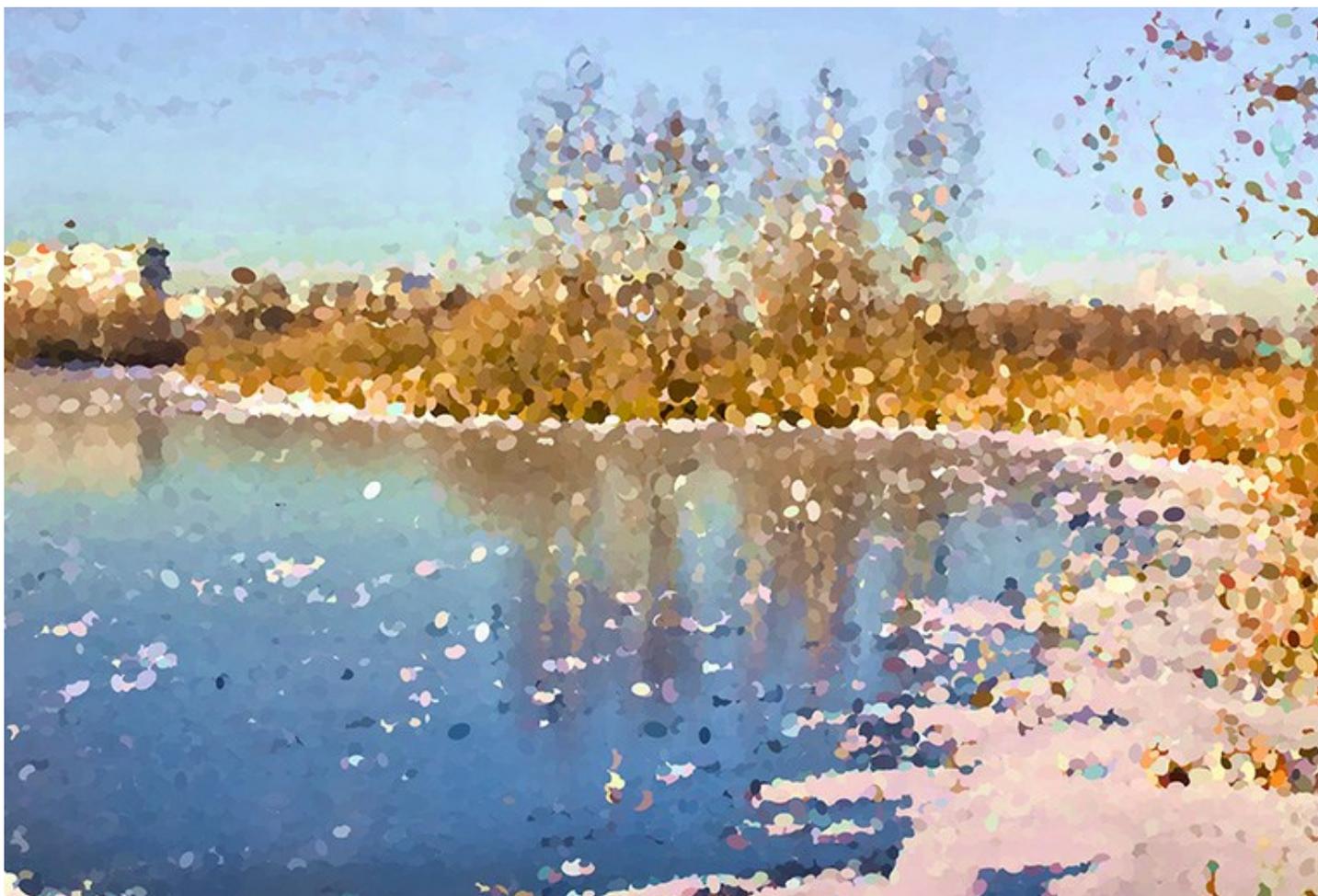
ジョルジュ スーラやポール シニャックが用いたような技法を使った絵画を作り出せるのです!明るい色を使った世界での作品づくりをお楽しみください!



ソフトウェアには、すぐに使用可能なAKVIS [プリセット](#) が含まれており、作業を始めるのに役立ちます。お気に入りの設定をオリジナルのプリセットとして保存することもできます。

背景を平面か [粗面](#) (キャンバスや紙など)から選択でき、よりよい印象を与えることができます。さらに、署名、コメント、著作権の [ウォーターマーク](#) を挿入することもできます。

ソフトウェアがサポートしている [バッチ処理](#) 機能を使用すると、同じ設定で一連の(複数の)画像を自動的に変換することができます。この機能は、同じスタイルで複数の画像を作成するときに役立ちます。本やブログ、さらには、ビデオ(動画)を点描技術を使用した漫画に変換する場合などに活用できます。



ライセンスの種類によってプログラムの機能が異なります。この機能は *Home Deluxe* および *Business* ライセンスでのみ利用可能です。試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。

#### *Deluxe/Business* 版での特別な機能:

イメージのフィルタリングの際、プログラムは処理の各段階のスナップショットを作成します。もはや欠かすことのできない、素晴らしい **タイムライン** 機能により、設定を変更擦り異なく、様々なバリエーションの絵を作り出すことができるようになりました。

自由に使うことのできる特別な **後処理ツール** も用意されており、最後の仕上げを行ったり、特定部分での効果を強めたり弱めたりすることができます。

ライセンスや機能に関する詳細は、**比較表** を参照してください。



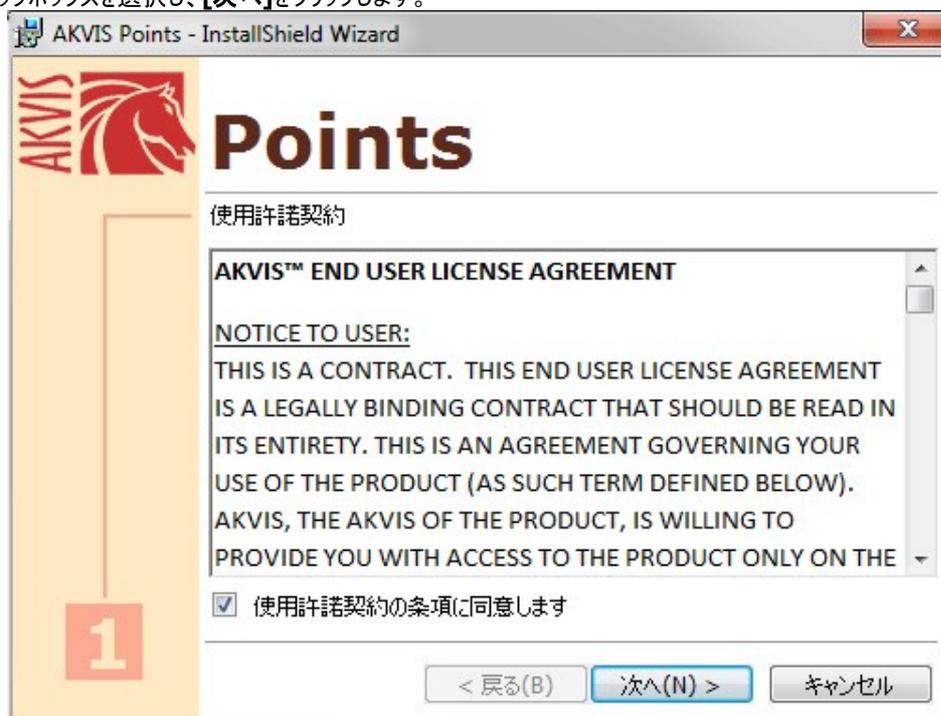
AKVIS Points は、スタンドアロン プログラムとして、またフォトエディターの プラグイン としても使用できます。

プラグイン版は、Adobe Photoshop、Corel Paint Shop Pro、Painterなどと互換性があります。詳細は、[対応表](#) をご覧ください。

## インストール

AKVIS PointsをWindowsでインストールするには、次の指示に従います。

- exeをダブルクリックします。
- 言語を選択して、**[次へ]**をクリックして続行します。
- インストールを継続するには、ライセンス合意書を読み、同意する必要があります。ライセンス合意書に同意する場合は、**[使用許諾契約の条項に同意します]**チェックボックスを選択し、**[次へ]**をクリックします。



- リストから使用しているフォトエディタを選択し、**[次へ]**をクリックします。 リストにフォトエディタがない場合は、**[Custom Plugins Directory]**をクリックで選択し、**[変更]**からC:\Program Files\Corel\...\Pluginsのような、フォトエディタのプラグインフォルダを選択します。

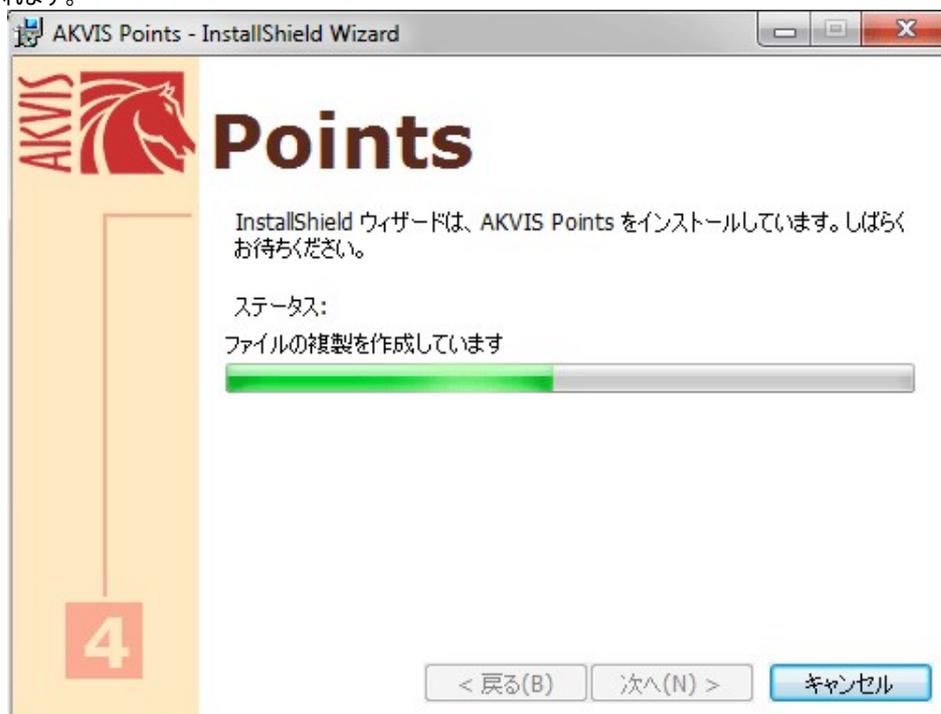
スタンドアロン版をインストールするには、**[Standalone]**を選択します。



- **[インストール]**をクリックしてAKVIS Pointsのインストールを開始します。



- インストールが開始されます。



- インストールが完了しました。
- AKVIS ニュースレターを購読することができます。購読を希望する場合は、メールアドレスを入力してください。



- **【完了】**をクリックしてセットアップを完了します。

スタンドアロン版のAKVIS Points のインストールが完了すると、[スタート]メニューに[AKVIS -Points]という新しいメニュー、およびデスクトップ上にショートカットが作成されます。

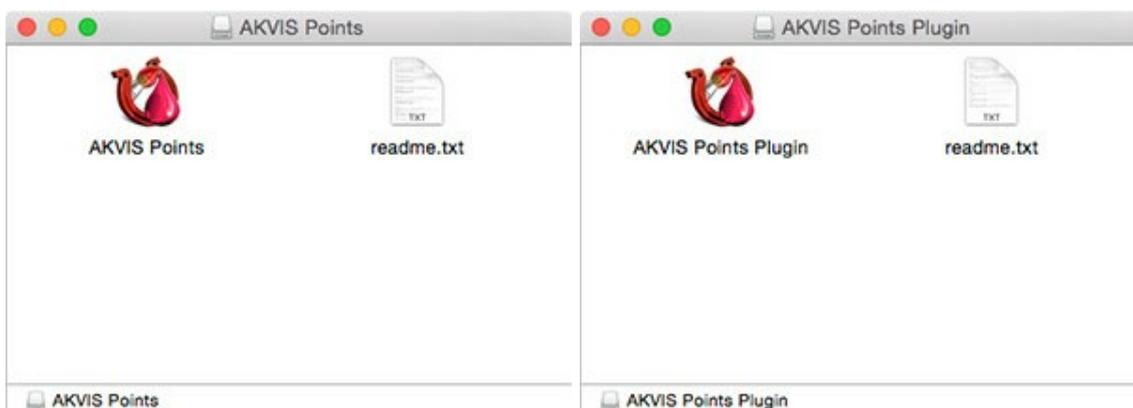
AKVIS Points のインストールが完了すると、フォトエディタの [フィルタ] ([効果])メニュー内に[AKVIS] > [Points]という新しいメニューが表示されるようになります。

## インストール

- 仮想ディスクを開く:
  - akvis-points-app.dmg (Pointsのスタンドアロン版をインストールする場合)
  - akvis-points-plugin.dmg (Photoshopを使用する場合)
- ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は[Agree]をクリックします。



- Finderが開き、[AKVIS Points App]または[AKVIS Points Plugin]フォルダが表示されます。



- スタンドアロン版をインストールするには、[AKVIS Points App]を[Applications]フォルダにドラッグします。

プラグイン版をインストールするには、[AKVIS Points Plugin]を(フォルダごと)[Plug-Ins]フォルダにドラッグします。

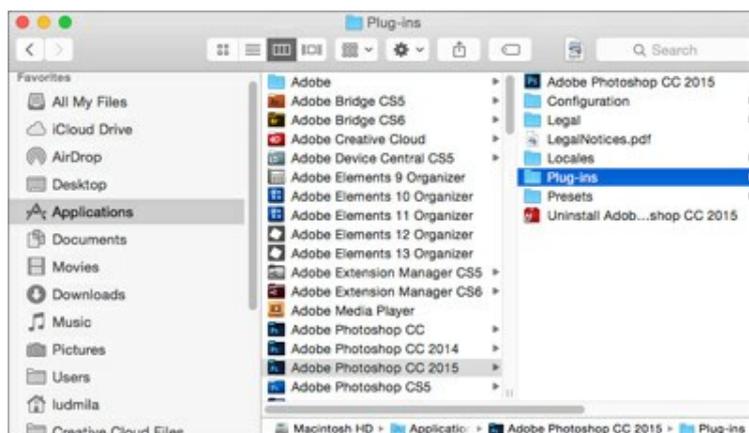
たとえば、Photoshop CC 2018を使用する場合、[AKVIS Points Plugin]フォルダを[Applications/Adobe Photoshop CC 2018/Plug-Ins]に移動します。

Photoshop CC 2017: [Applications/Adobe Photoshop CC 2017/Plug-Ins]。

Photoshop CC 2015.5: [Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC]。

Photoshop CC 2015: [Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-Ins]。

Photoshop CS6: [Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins]。



---

AKVIS Points Plugin のインストールが完了すると、フォトエディタの [フィルタ]([効果])メニュー内に[AKVIS] > [Points]という新しいメニューが表示されるようになります。

## AKVIS製品のアクティベーション方法

**注意:** この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーション(詳細は「[オフライン アクティベーション](#)」を参照してください)も提供しています。

このウィンドウはAKVIS Pointsを起動すると表示されます。プログラムの実行中に  をクリックして開くこともできます。

また、Adobe Photoshopでは、[ヘルプ] > [プラグインについて] > [Points]から(Macでは[Photoshop] > [Plug-Inについて] > [Points])から開けます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、**【無料トライアル】** をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

プログラムの機能はライセンスの種類によって異なりますので**注意**してください。**試用期間**中にすべての機能を試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。**バージョン情報**ウィンドウでは、**Home**(プラグインまたはスタンドアロン)、**Deluxe**、または**Business**のいずれかから試用するタイプを選択できます(各ライセンスを選択すると、その下にタイプの特長が簡単に説明されます)。選択するライセンスによってAKVIS Pointsで利用できる機能が異なります。

ライセンスの種類やPointsのバージョンに関する詳細は、[比較表](#)を参照してください。

**購入**ボタンをクリックすると、購入ページへ移動しますので、プログラムを選択し、アクティベーションすることができます。

購入手続きが完了すると、シリアル番号が電子メールで送信されます。

**【バージョン情報】**ウィンドウで**【アクティベート】**をクリックし、アクティベーション処理を開始します。

**AKVIS Points** バージョン 2.0.196.13549-r (64bit)


---

## アクティベーション

---

お客様名:

シリアル番号:

アクティベーション サーバーへの直接接続  
 電子メールでリクエストを送信

---

シリアル番号をわすれた場合、[こちら](#)からリストアできます。

アクティベーションで問題が生じた場合、[お問い合わせ](#)ください。

[HWID](#)をコピーします。



アクティベート



キャンセル

---

©2004-2016 AKVIS. All rights reserved

お客様名を入力します(プログラムはこの名前で登録されます)。

シリアル番号を入力します。

アクティベーション方法(アクティベーション サーバへの直接接続または電子メール)を指定します。

#### アクティベーションサーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

**【アクティベート】**ボタンをクリックします。

これでアクティベーションは完了です。

#### 電子メールでリクエストを送信:

メールでのアクティベーションを選択した場合は、受信した電子メールに添付されているPoints.licファイルを、このヘルプー番下の「注意」に書かれている場所に置いてください。

インターネット接続環境がない場合、以下の手順でアクティベーションを行ないます。

アクティベーション方法として、**メールでのアクティベーション**を選択します。お使いのメール プログラムにより、必要な情報が記載されたアクティベーション用メールを作成します。作成したメールをUSBなどに保存し、インターネットに接続されたコンピュータにデータを移動させます。

メール内容を変更せずにそのまま送信します。

**スクリーンショットを添付しないでください！** テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、コンピュータのハードウェアID、お客様名です。

これらの情報を元に、ライセンスファイル(Points.lic)を作成し、返信いたします。

メールでのアクティベーションを選択した場合は、受信した電子メールに添付されているPoints.licファイルを以下のフォルダに置いてください。

- Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 10の場合:

Users\Public\Documents\AKVIS;

- Windows XPの場合:

Documents and Settings\All Users\Documents\AKVIS;

- Macの場合:

Users/Shared/AKVIS.

これでアクティベーションは完了です。

既にライセンスをお持ちの場合は、価格の差額を支払うことで、いつでもアップグレードすることが可能です。**【アップグレード】**ボタンをクリックするとアップグレード処理が始まります(プログラムのアクティベーションが済んでいる場合に**【購入】**ボタンの代わりに表示されます)。

## 点描

ライセンスの種類によってプログラムの機能が異なります。試用期間中にすべてのオプションを試すことができますので、利用環境に最適な種類を選んで購入できます。

試用版を起動すると、**Home** (プラグイン版またはスタンドアロン版)、**Home Deluxe** (プラグイン+スタンドアロン)、**Business** (プラグイン+スタンドアロン)の選択画面が表示され、評価する機能の種類を選択することができます。

ライセンス比較:	Home (Plugin)	Home (Standalone)	Home Deluxe (Plugin+Standalone)	Business (Plugin+Standalone)
<b>使用目的</b>				
非商用	✓	✓	✓	✓
商用	—	—	—	✓
<b>エディション</b>				
Plugin 🚫	✓	—	✓	✓
Standalone 🔄	—	✓	✓	✓
<b>機能</b>				
点描	✓	✓	✓	✓
ツール:				
切り取りツール	—	✓	🔄	🔄
後処理ツール	—	—	✓	✓
その他の特長:				
タイムライン	—	—	✓	✓
テキスト	✓	✓	✓	✓
キャンバス	✓	✓	✓	✓
フレームパック	✓	✓	✓	✓
ファイルのインポート/エクスポート:	✓	✓	✓	✓
*.points (プリセット)	✓	✓	✓	✓
バッチ処理	✓	✓	✓	✓
共有	✓	✓	✓	✓
印刷	—	✓	🔄	🔄
拡大フォーマットで印刷	—	✓	🔄	🔄
EXIF, IPTC	—	✓	🔄	🔄
<b>カラースペース</b>				
RGB	✓	✓	✓	✓
CMYK	✓	✓	✓	✓
Lab	✓	✓	✓	✓
Grayscale	✓	✓	✓	✓
8 / 16 bits	✓	✓	✓	✓

---

32 bits	✓	✓	✓	✓
<b>イメージフォーマット</b>				
TIFF	✓	✓	✓	✓
JPEG	✓	✓	✓	✓
BMP	✓	✓	✓	✓
PNG	✓	✓	✓	✓
RAW	✓	✓	✓	✓
DNG	✓	✓	✓	✓
PSD	✓	—	👍	👍
<b>OS</b>				
Windows	✓	✓	✓	✓
Mac	✓	✓	✓	✓
<b>10 日間の評価期間</b>	✓	✓	✓	✓
<b>価格</b>	\$ 49	\$ 49	\$ 69	\$ 89

## ワークスペース

**AKVIS Points** は、写真を点描に変換します。ソフトウェアは、独立したスタンドアロンプログラムとして、また、ご使用のフォトエディターの**プラグイン**としても機能します。

**スタンドアロン**は独立したプログラムでプログラムのアイコンをクリックして開くことができます。

スタンドアロン版を起動する方法：

**Windows**コンピュータの場合：**[スタート]**メニューまたはプログラムのショートカットを使用します。

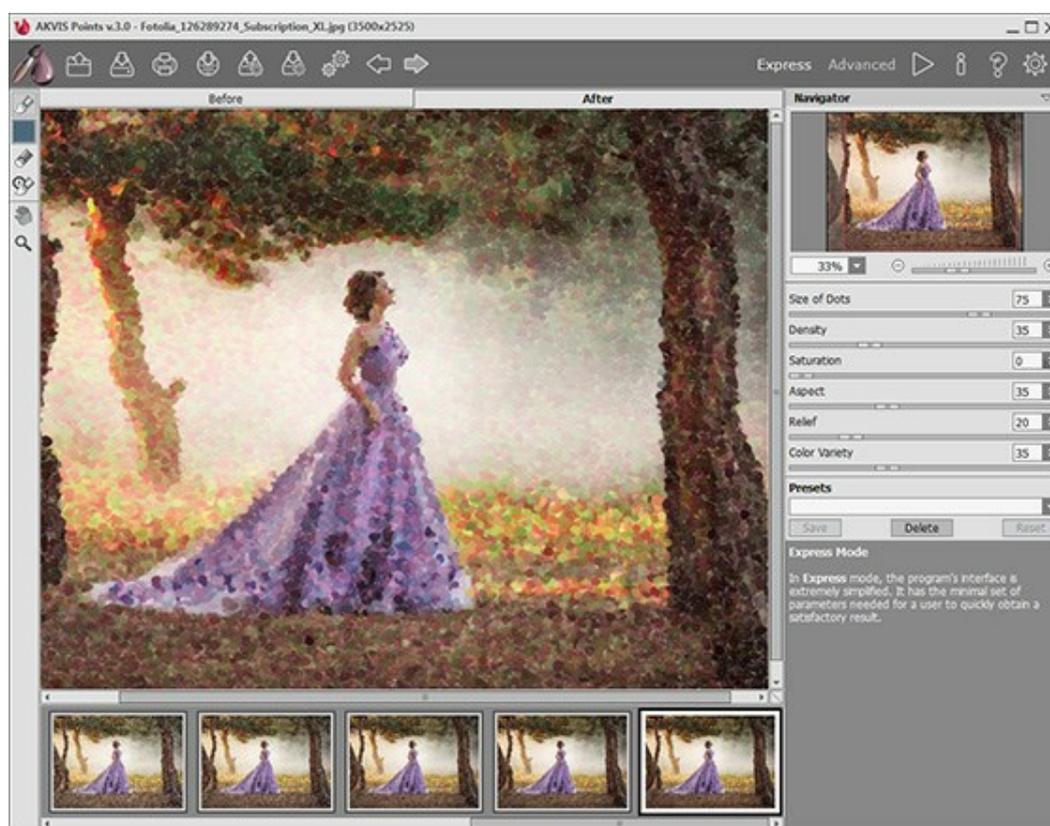
**Mac**コンピュータの場合：**[アプリケーション]**フォルダーからアプリを起動します。

プラグイン は、Photoshop等の**フォトエディター**のアドオンとして動作します。

プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターの**フィルター**から**選択**します。

ワークスペースの配置は、コントロールパネルで選択した編集モードによって異なります。**簡略モード** または **詳細モード**のどちらを選ぶかで異なります。

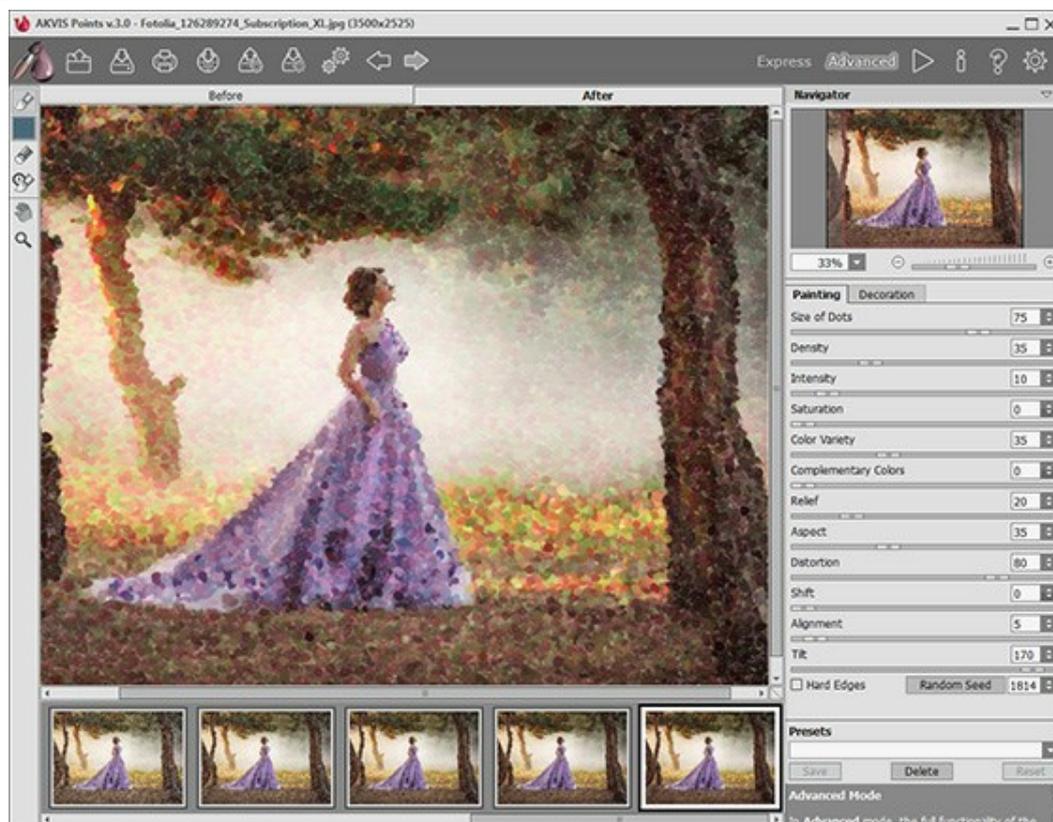
**簡略モード** のインターフェイスは非常にシンプルになっています。最低限のツールだけである程度の結果を短時間で得ることができます。



AKVIS Points のワークスペース(簡略モード)

**詳細モード**では、プログラムのすべての機能を利用できます。

**注意:** すべての機能とパラメーターは、**簡略モード**で使用できます。隠されているもの、デフォルト値を使用するもの、特定のプリセットの値を使用するものなどがあります。



AKVIS Points のワークスペース(詳細モード)

AKVIS Pointsのウィンドウ左側には**イメージ ウィンドウ**があり、**【処理前】**と**【処理後】**の2つのタブで構成されています。**【処理前】**タブには元のイメージが表示され、**【処理後】**タブには変換後の画像が表示されます。タブを切り替える場合は、タブをクリックします。処理前と処理後の画像を比較したい場合、イメージをクリックしたままの状態にすると、画像が何秒かごとに切り替わります。

プログラムのウィンドウの上部には、**コントロールパネル**があります。



: AKVIS Pointsのホームページに移動します。



: イメージを開きます(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + O** キー、Mac OS の場合 **⌘ + O** キーです。

このボタンを右クリックすると、最近使用した画像の一覧が表示されます。表示するファイル数をプログラムの**【環境設定】**で変更することもできます。



: 処理したイメージをディスクに保存します(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + S** キー、Mac OS の場合 **⌘ + S** キーです。



: **【印刷】** ダイアログボックスが開きます(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + P** キー、Mac OS の場合 **⌘ + P** キーです。



: プログラムから、Twitter、Flickr、Tumblr、Google+ 等のソーシャル ネットワークに写真を投稿して共有できます。



: **プリセットをエクスポート**します(プリセットとはユーザーが保存しておいたイメージ処理に使用する各種設定)。プリセットは拡張子 **.points** の別ファイルに保存できます(保存可能なプリセット数に制限はありません)。



: **プリセットをインポート**します(**.points**ファイルから)。



ボタン(スタンドアロン版のみ): 画像をまとめて自動変換できる**バッチ処理**ダイアログを開きます。



: 各ツールを使って行った最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことができます。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + Z** キー、Mac OS の場合 **⌘ + Z** キーです。



: 最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + Y** キー、Mac OS の場合 **⌘ + Y** キーです。

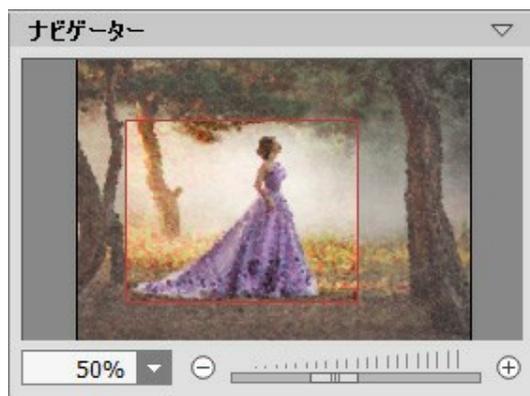


: 現在の設定でイメージの処理を実行します。処理後の画像が**【処理後】**タブに表示されます。

- : 変換結果をイメージに適用し、プログラムを閉じます(プラグイン版のみ)。
- : プログラムに関する情報、つまりバージョン、試用期間、ライセンス情報を表示します。
- : ヘルプファイルを呼び出します。この操作に対するホットキーは、F1キーです。
- : プログラムのオプション設定を変更するための**【環境設定】**ダイアログボックスを開きます。

メイン ウィンドウの左側には、**ツールバー**があります。アクティブなタブ、**【処理前】**または**【処理後】**タブによって表示されるツールは異なります。ツールは、機能別にグループに分けられています。**事前処理** (**【処理前】**タブ)、**後処理** (**【処理後】**タブ)、**追加ツール** (**【処理前】** と **【処理後】** タブ)。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには**ナビゲーター**を使用します。**ナビゲーター**の赤枠で囲まれた領域は、現在イメージ ウィンドウに表示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になり、イメージ ウィンドウに表示されません。赤枠をドラッグすると画像の表示領域を変更できます。赤枠を移動させるには、マウスをクリックしたままカーソルをドラッグします。



ナビゲーター

イメージ ウィンドウで画像をスクロールするには、キーボードのスペースバーを押しながら画像をドラッグします。マウスのスクロールホイールを使うと、イメージは上下に動き、**Ctrl** キーを押しながらの場合は左右に動き、**Alt** キーを押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーション メニューが表示されます。

スライダーまたは **+** や **-** を使用して、イメージを拡大/縮小することができます。**+** をクリックするか、スライダーを右に動かすと、イメージは拡大されます。**-** をクリックするか、スライダーを左に動かすと、イメージは縮小されます。

さらに、**【拡大/縮小】**欄に値を入力してイメージを拡大/縮小することもできます。プルダウンメニューには、使用頻度の高い値が表示されます。

画像の拡大/縮小は、ホットキーを使っても行えます。**+** と **Ctrl** + **+** (Mac OS の場合は **⌘** + **+**) で拡大、**-** と **Ctrl** + **-** (Mac OS の場合は **⌘** + **-**) で縮小します。

ナビゲーターの下にある設定パネルには、**【ペイント】**タブと**【装飾】**タブがあります。

**【ペイント】**: 写真から点描画へ変換するための各種設定を調整できます。

**【装飾】**: 画像にテキストを追加したり、キャンバスを変更したり、フレームを適用したりできます。

**【プリセット】**フィールドでは、現在の設定内容をプリセットとして保存できます。保存したプリセットは後で使用できます。現在の設定は保存だけでなく、編集や削除もできます。プログラムの起動時には、最後に使用したプリセットが使用されます。

設定パネルの下には、カーソルをパラメーターやボタンに合わせた場合に ヒント が表示されます。ヒントの表示位置や表示/非表示の設定は **【環境設定】** ダイアログボックスで行うことができます。

## 操作方法

**AKVIS Points** は、写真を点描画法を用いた絵画に変換してくれます。スタンドアロン プログラムとしてだけでなく、Photoshop や他のフォトエディターのプラグインとしても使用できます。

写真を点描画に変換する場合は、次の手順に従って操作してください。

**ステップ1:** イメージを開きます。

スタンドアロン版で作業する場合:

**【ファイルを開く】**ダイアログボックスを開くには、空のワークスペースをダブルクリックするか、 ボタンをクリックします。使用可能なホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + O** キー、Mac OS の場合 **⌘ + O** キーです。ワークスペースにイメージをドラッグすることもできます。スタンドアロン版は、BMP、JPEG、RAW、PNG、TIFFファイル フォーマットをサポートしています。

プラグイン版で作業する場合:

使用する**フォトエディター** の**【ファイル】 > 【開く】**コマンドを使用して画像を開きます。

フォトエディターのメニューからプラグインを呼び出します。

Adobe Photoshop と Photoshop Elements の場合: **【フィルター】 > 【AKVIS】 > 【Points】**、  
Corel PaintShop Pro の場合: **【効果】 > 【プラグイン】 > 【AKVIS】 > 【Points】**、  
Corel Photo-Paint の場合: **【効果】 > 【AKVIS】 > 【Points】**。

プログラムを最初に起動したときは、シンプルなインターフェイスと最低限のツールだけである程度の結果を得られる簡易モードです。



AKVIS Points ウィンドウ (簡易)

上級ユーザー用に、詳細モードも準備されています。**コントロールパネル** の **【詳細】** をクリックしてモードを切り替えると、インターフェイスが変わり、プログラムのすべての機能へのアクセスが可能になります。

**メモ:** すべてのパラメーターは、**簡易モード** でも利用できますが、隠れているものや、特定のプリセットの値を使用するものがあります。



AKVIS Points ウィンドウ (詳細)

**ステップ2:** 効果をスタンドアロン版で適用する前に、**切り取りツール**  を使って写真の一部を切り取って構成(バランス)を調整することができます。

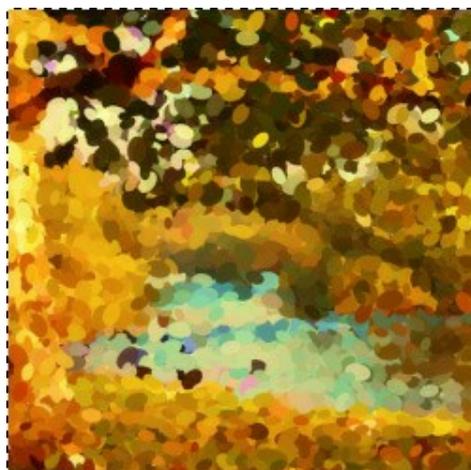
プラグイン版の場合、フォトエディターでこの作業を行えます。



切り取りツール

**ステップ3:** **【ペイント】**タブにある**効果の設定**を調整します。すぐに利用可能な(選択するだけ)**プリセット**を使用するか、パラメーターを手動で変更します。

イメージの処理後の結果は、**プレビュー ウィンドウ**に表示されます。プレビュー ウィンドウは、ツールバーの  ボタンが押されている場合、**【処理前】**タブに表示されます。



プレビュー ウィンドウ

**ステップ4:** ▶ ボタンをクリックして、新しい設定を基にして写真を変換します。

進捗バーが表示されるので、 アイコンでスナップショットを撮影し、**[停止]**ボタンで処理を中断します。

**ステップ5:** より印象的でリアルな作品にするために、**[装飾]**タブのオプションを使って、**キャンパス**を変更したり、**フレーム**を適用したり、**テキスト**を追加したりできます。

**ヒント:** キャンパス、フレーム、テキストの追加順は、タブの位置に対応しています。順番を変更するには、タブをドラッグします。



点描画 + キャンパス + テキスト

**ステップ6:** お好みの設定内容を**プリセット**として保存し、後で使用することができます。プリセットを保存するには、欄にプリセット名を入力し、**[保存]**ボタンをクリックします。新しいプリセットは、すべてのタブで設定が保存されており、すべてのタブで利用できます。

**ステップ7:** 処理中に、プログラムは、変換の様々な段階のショットを生成します。半分ほど処理されているスケッチ画からほとんど完全に近い状態まで様々です。メイン ウィンドウの下部の**タイムライン**に表示されます。タイムライン内の変換の様々な段階のショットは、どれでも、クリックするだけで選択できます。最後の画像が最終処理結果になります。

**注意:**この機能は、**Home Deluxe版**と**Business版**でのみ利用できます。



タイムライン ショット

画像処理中のお気に入りの瞬間をタイムラインに追加するには、進捗バーの右にある  ボタンを使ってスナップショットを撮影します。詳細は [こちら](#) をご覧ください。

**ステップ8:** 後処理ツール、点描画ブラシ 、消しゴム 、履歴ブラシ  を使って写真の最終仕上げを行うことができます。

**注意:** これらのツールは、Home Deluxe と Businessライセンスでのみ利用できます。

**注意:** 後処理ツールは、最終段階でご利用ください。  ボタンで処理を再実行した場合、ブラシを使用した編集が失われる場合があります！

**ステップ9:** イメージを共有するには、 をクリックします。画像を公開可能なサービスの一覧が表示されます。サービスには、Twitter、Flickr、Tumblr、Google+ が含まれます。

スタンドアロン版では、印刷を行うこともでき、その場合は、 をクリックします。

**ステップ10:** 処理したイメージを保存します。

スタンドアロン版で作業する場合：

 をクリックすると、**[名前をつけて保存]** ダイアログボックスが開きます。使用可能なホットキーは、Windows の場合 **Ctrl + S** キー、Mac OS の場合 **⌘ + S** キーです。ファイル名を入力し、ファイルの種類 (TIFF、BMP、JPEG、PNG) を選択し、保存先フォルダを選択します。

プラグイン版で作業する場合：

 をクリックして結果を適用し、プラグイン ウィンドウを終了します。AKVIS Points プラグインが終了し、画像がフォトエディターのワークスペースに表示されます。

**[ファイル] > [名前を付けて保存]** コマンドを使用して **[名前を付けて保存]** ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類を選択、保存先フォルダの指定を行います。

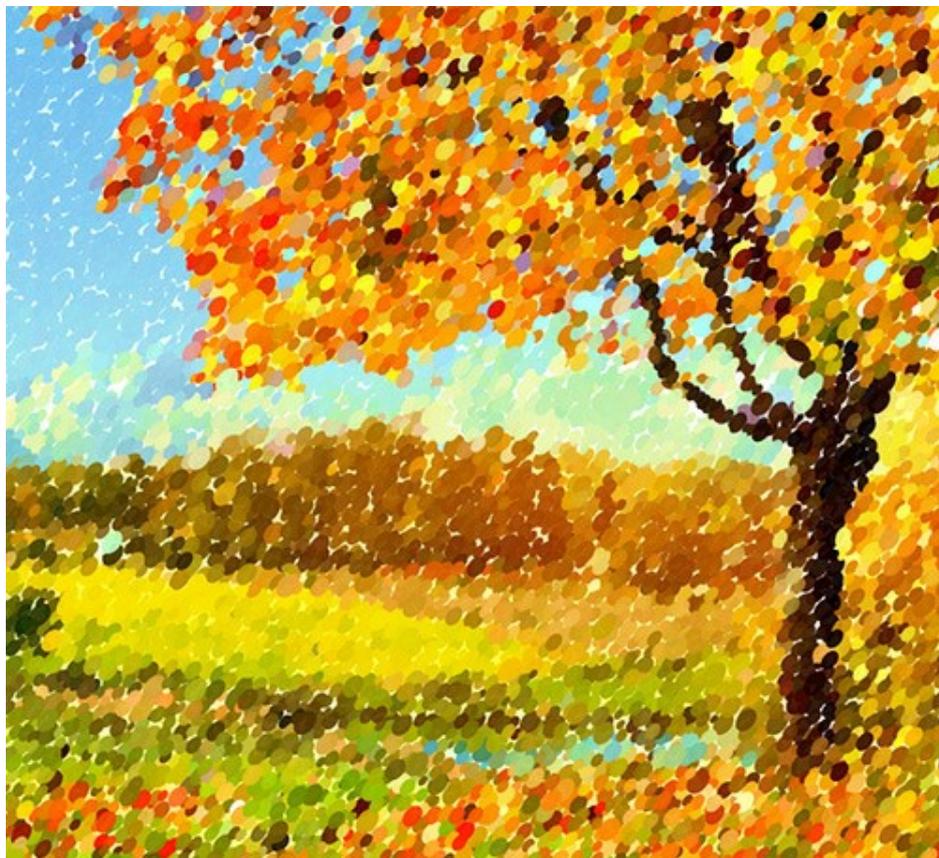


点描効果

## 点描効果

**点描**とは、線ではなく点を用いた技法です。複雑な色合いが個々の色に分解され、純色の小さな点を使用したストロークが描かれます。点の光混合により、絵画全体が絵としてとらえられるようになります。

AKVIS Points ソフトウェアを使用すると、点描技術を使用して、素晴らしい作品を簡単に作り出すことができます。



点描画像

効果パラメーターを【ペイント】タブで調整できます。

**点の大きさ**（設定可能値が10から100）： 画像内の点の数を指定/変更します。値が高いほど、画像内のペイントされていない部分が少なくなります。

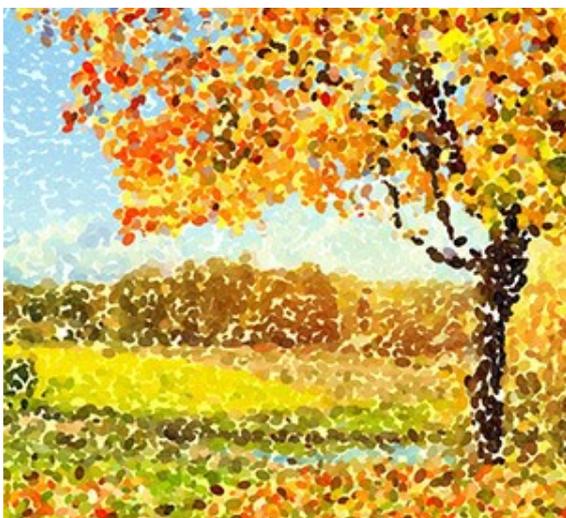


点の大きさ = 25

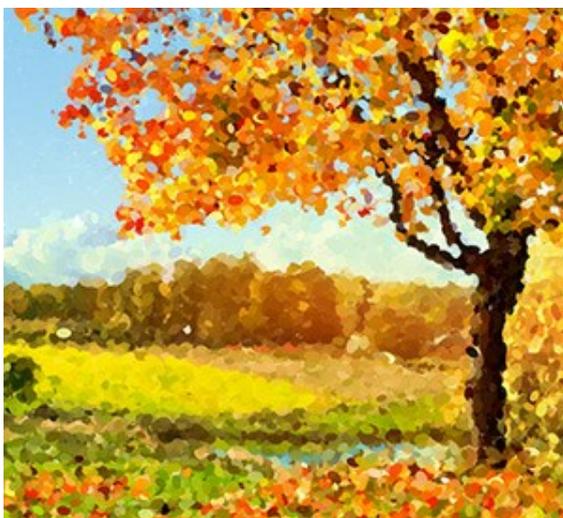


点の大きさ = 75

**密度**（設定可能値が10から100）： 画像内の点の数を指定/変更します。値が高いほど、画像内のペイントされていない部分が少なくなります。



密度 = 20



密度 = 70

**透明度** (設定可能値が0から100): ブラシ ストロークがどれほどはっきり見えるかを設定します。値が低いほど、ストロークはぼかしのかった状態になります。値を上げると、点がより鮮明で見分けがつくようになります。



透明度 = 25



透明度 = 75

**彩度** (設定可能値が0 から 100): このパラメーターは、ブラシ ストロークの点の色の強度を設定します。値が 0 の場合、元の画像の彩度と同じになります。値を上げると、色はより明るく、彩度の高い色になります。



彩度 = 10



彩度 = 50

**色のバリエーション** (設定可能値が0から100). パラメーターの値を上げることで、いくつかの点の色が変化します。値が高いほど、多くの色に変化し、色でいっぱいになります。



色のバリエーション = 5



色のバリエーション = 30

**補助色** (設定可能値が0から50): 補助色の点を画像に加えて、より鮮やかで明るい印象にすることができます。



補助色 = 0



補助色 = 20

**レリーフ** (設定可能値が0から100). ストロークにボリュームを持たせるためのパラメーターです。低い値では、ストロークは平らですが、高い値では、ストロークにボリュームが加わり、浮き出たように目立たせることができます。



レリーフ = 20



レリーフ = 90

**形状** (設定可能値が0から100): ストロークの形状を、ブラシのアスペクト比を元に指定します。値が 0 の場合、点(ストローク)は丸くなり、値を上げるにより、楕円形になります。



形 = 0



形 = 90

**歪み** (設定可能値が0から100). このパラメーターは生成されるイメージの鮮明度を設定します。設定可能な値は 0 から 50 です。値が大きいほど、イメージの歪みが大きくなり、ぼけた状態になります。



歪み = 0



歪み = 100

**シフト** (設定可能値が0から100): 色領域の境界を越えて、点がシフトされます。



シフト = 20



シフト = 90

**揃える** (設定可能値が0から100): ブラシ ストロークの規則正しさや均一性に関する設定を行います。値が 0 の場合は、点の配置がランダムになります。パラメーター値を高くすることにより、**傾き**で指定されているラインに沿って描画されます。**形状**が 0 に設定されている場合は、変化はありません。



揃える = 0



揃える = 100

**傾き** (設定可能値が0から180): ストロークが描画される方向を設定します。次のパラメーターと関連しており、**【揃える】**が0以外に設定されている必要があります。



傾き = 0



傾き = 90

**点の境界部分を鮮明にする**. 点の境界部分をぼかすかどうかを設定するためのチェックボックスです。チェックボックスがオフの場合、点の境界部分はぼかされ、チェックボックスがオンの場合には点の境界が鮮明になります。



Check-box is disabled



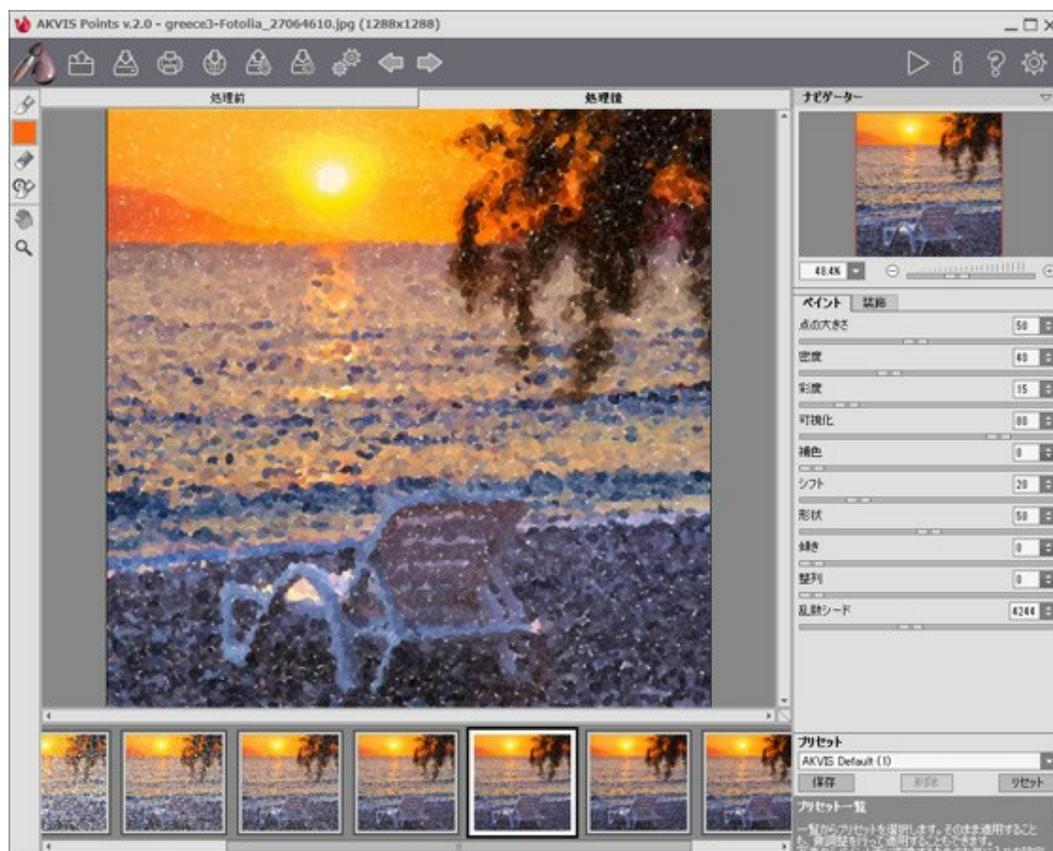
Check-box is enabled

**乱数開始値** (設定可能値が0から9999): ブラシ ストロークの分布を定義する乱数発生器の最初の数値を意味します。それぞれの値は、点の分布を他にないユニークな仕方でも生成します。

## タイムライン

AKVIS Points では、写真が点描画に変換される様子を、リアルタイムで観察できます。処理中に、プログラムは、変換の様々な段階のショットを生成します。半分ほど処理されている状態からほぼ完成に近い状態まで様々です。この便利な機能により、効果の設定を変えることなく、様々なバージョンの作品を作り出すことができます。

タイムライン は、メイン ウィンドウの下に表示されます。

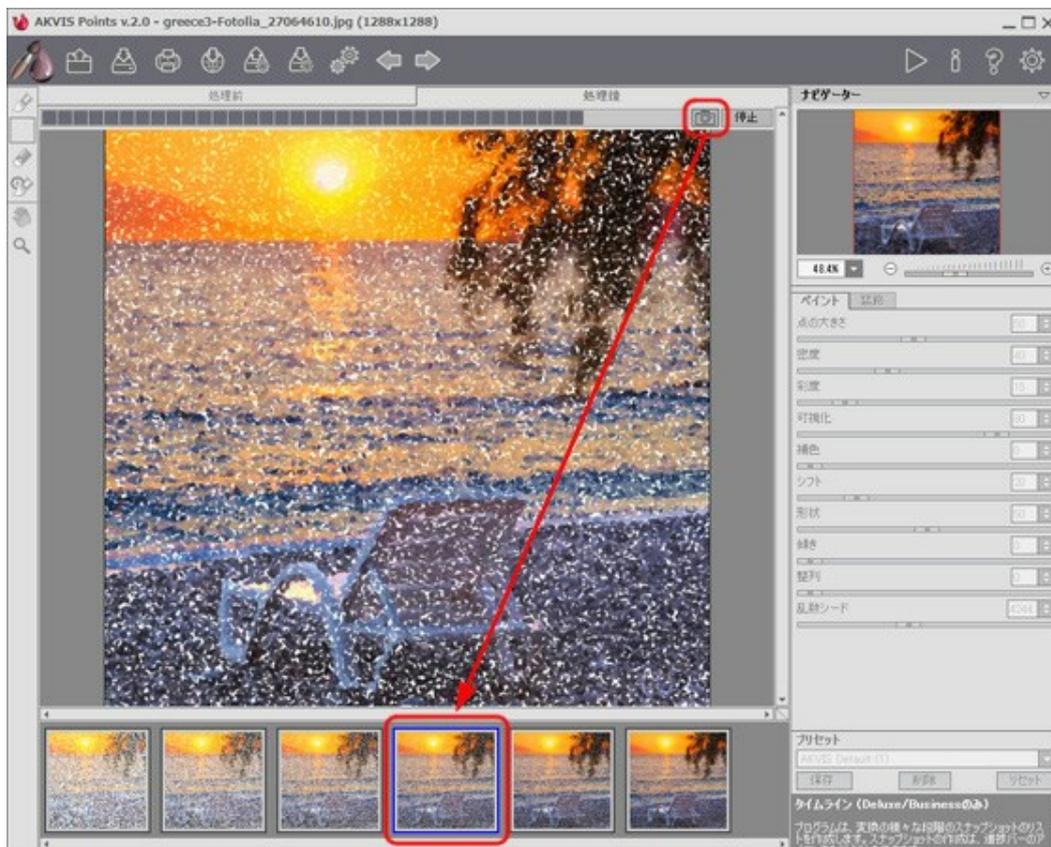


AKVIS Points

**注意:** タイムライン 機能は、Home Deluxe と Business ライセンスのユーザーのみが利用できます。これらのライセンスをお持ちでない Home ライセンスのユーザーであっても、進捗バーの【停止】ボタンをクリックすることにより、途中まで処理された状態のものを取得できます。

写真の変換の開始は、▶ ボタンをクリックします。処理の過程で、ウィンドウの下部には、何枚ものショットが表示されます。

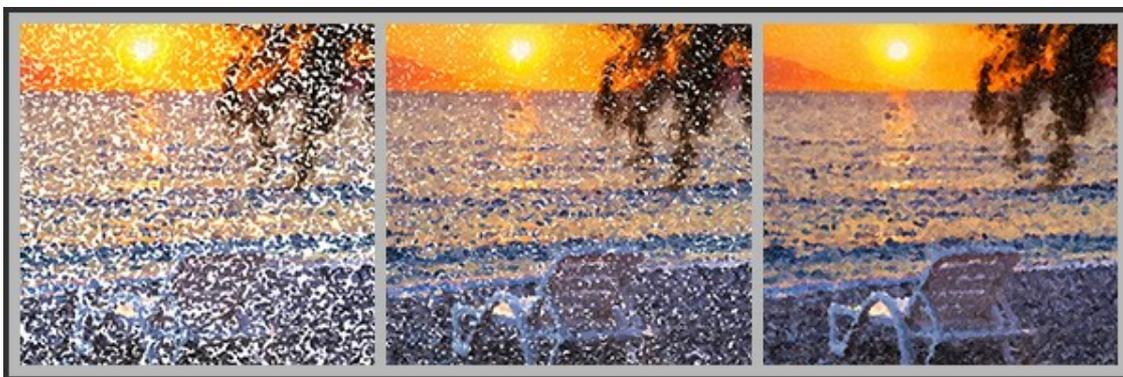
お気に入りの瞬間のスナップショットを撮るには、進捗バーの右側ある 📷 ボタンを使用します。ボタンをクリックすると、その瞬間のショットが一覧に追加され、青い枠で囲われます。



イメージの処理

進捗バーの **【停止】** ボタンをクリックすると、処理は中断されます。

**タイムライン** 内のショットを確認し、お気に入りのショットを探してください。最終結果に戻りたい場合は、一覧内の最後のショットをクリックします。



点描画のバリエーション

パラメーターを変更して、再度処理を実行すると、**タイムライン** はリセットされ、新しいショットが表示されます。お気に入りのショットなどは、ダブルクリックして、ピン留めすることにより、保存できます。選択したショットの右上にアイコン  が表示されます。

ショットを切り替えたり、設定を変えて処理を再実行したりしても、ピン留めしたものは一覧に残ります。ピン留めを解除するには、ダブルクリックします。



**注意:** プログラムに新しいイメージを読み込むと、ピン留めしたものも含め、すべてのショットが削除されます。

**注意:**

後処理ツール 、、、使用後にタイムライン内の別のイメージに切り替えた場合、それらのツールでの変更はすべて失われます。処理結果に新しい名前を付けて、作業を続けることができます。

**タイムライン** の表示/非表示の切り替えは、プログラムの環境設定  で行えます。**【タイムラインショット】** オプションが有効な場合、処理中に何枚のショットを生成するかを設定することができます。

環境設定	
言語	日本語
インターフェイスの拡大/縮小	自動
インターフェイス テーマ	明るい
プレビューウィンドウサイズ (ピクセル)	700
処理サイズ制限 (メガピクセル)	10
初期の比率	<input checked="" type="radio"/> 画面に合わせる <input type="radio"/> 100%
<input checked="" type="checkbox"/> タイムライン ショット	6
<b>ヒント パネル</b>	
<input checked="" type="radio"/> 設定パネルの下	
<input type="radio"/> イメージ ウィンドウの下	
<input type="radio"/> 隠す	
最近使ったファイル	10
<input checked="" type="checkbox"/> OS指定のダイアログボックスを使用	
<input checked="" type="checkbox"/> コントロールパネルを常に表示	
OK	キャンセル
既定値	

プログラムの環境設定

## ツールとそのオプション

AKVIS Pointsでは、アクティブなタブ、**【処理前】**または**【処理後】**タブによって表示されるツールは異なります。



プログラム内のツールはグループ分けされています。**事前処理**（**【処理前】**タブ）、**後処理**（**【処理後】**タブ）、**追加** ツール（**【処理前】**と**【処理後】**タブ）。

### 事前処理ツール（**【処理前】**タブ）:

**クイックプレビュー** : プレビュー ウィンドウのオン/オフ(表示/非表示)を切り替えます。プレビュー ウィンドウとは、点線で囲われた四角の枠で、**【ペイント】**や**【装飾】**タブで加えられた変更を表示します。

マウスクリックまたはダブルクリックによって、プレビュー ウィンドウの位置を自由に動かすことができます。これにより、効果のプレビューをイメージの様々な部分で確認することができます。自動変換の結果と元のイメージを比較するには、プレビュー ウィンドウでマウスをクリックしたままにします。



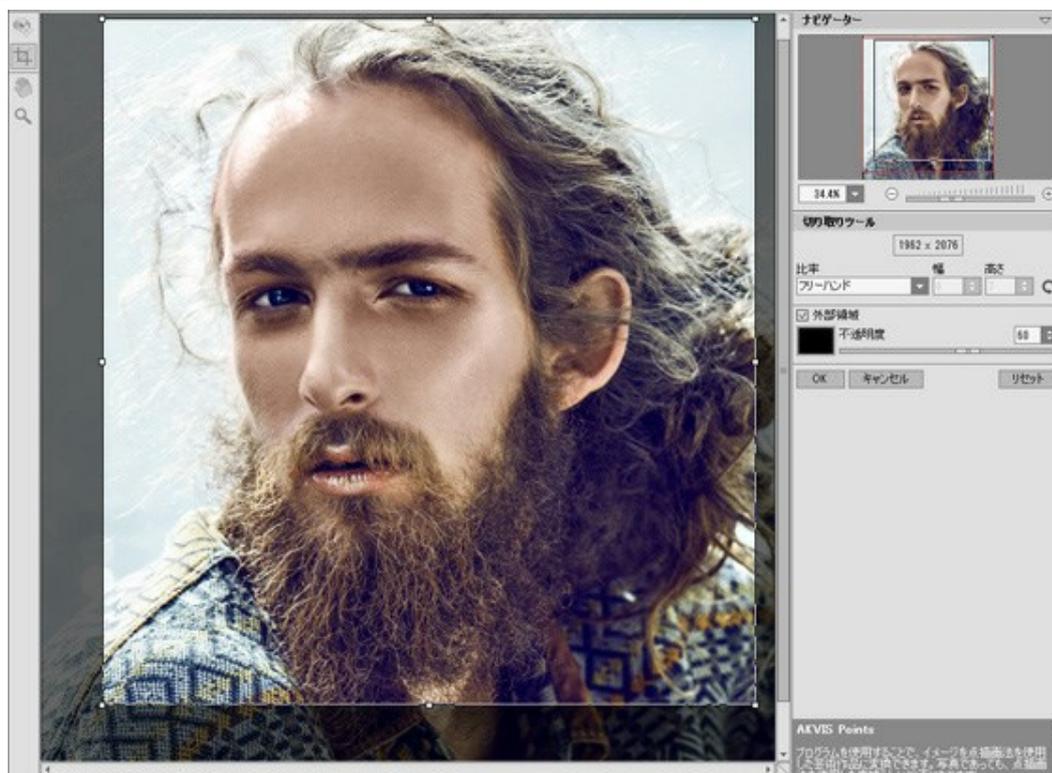
プレビュー ウィンドウ

プレビュー ウィンドウのサイズの変更は、プログラムの **環境設定** で行うことができます。

**切り取りツール** （スタンドアロン版のみ）を使って、イメージ内の不要な部分を切り取ることができます。このツールは、イメージの構成を変更したい場合、曲がった写真を修整したり、縦長の写真を横長にしたり、その逆を行ったりするのに便利なツールです。

切り取りは、フレームの枠や角をドラッグして行うことができます。

結果を適用して、フレーム外の部分を切り取るには、**【OK】** をクリックするか、**Enter** キーを使用します。操作をキャンセルして終了するには、**【キャンセル】** をクリックするか、**Esc** キーを使用します。ツールを有効にしたまま、元の状態に戻すには、**【リセット】** ボタンを押します。



イメージの切り取り

切り取りオプションを調整します。

切り取り枠の大きさは、**【比率】** ドロップダウン リストから選択するか、ユーザー定義で比率を指定します。

**【外部領域】** チェックボックスがオフの場合、外側の部分の色と不透明度を変更できます。

後処理ツール (Deluxe/Business版の **【処理後】** タブ):

**注意:** 後処理ツール 、、 は、Home Deluxe/Business ライセンスの **【処理後】** タブでのみ利用できます。最終処理段階で使用します。処理を再実行した場合  後処理ツールを使用した編集が失われる場合があります！

各ツールのオプションは、イメージを右クリックした場合に表示されるポップアップメニューに表示されます。

 と  のボタンを使用して、以下のツールの操作のやり直し/取り消しができます。この操作に対するホットキーは、Windows の場合 **Ctrl+Z** と **Ctrl+Y** キー、Mac OS の場合 **⌘+Z** と **⌘+Y** キーです。

**点描ブラシ**  を使って、数多くの色の点で描いた作品を作り出すことができます。点の様々な要素を以下のパラメーターで変更できます。

**サイズ** (設定可能範囲は 10-200): ツールブラシの直径(大きさ)を変更します。

**点の大きさ** (設定可能値: 10-100): 点の大きさの最大値を設定します。

**密度** (10-100): 1つのストロークにどれほどの点を含めるかを設定します。値が高いほど、多くの点を使用されます。

**形状** (設定可能値が0から100): 点の形の調整を行なうことができます。値が 0 の場合、点は丸くなり、値を上げることで、点は楕円形になります。

**彩度** (設定可能値が0 から -100): このパラメーターは、点の色の強度を設定します。値が 0 の場合、元の画像の彩度と同じになります。値を上げると、色はより明るく、彩度の高い色になります。

**明暗度** (設定可能範囲は 0から100): 点がどれほどはっきり見えるかを設定します。値が低いほど、点はぼかしのかった状態になります。値を高くすると、点はより鮮明になり、判別しやすくなります。

**レリーフ** (設定可能値が0から100). ストロークにボリュームを持たせるためのパラメーターです。低い値では、ストロークは平らですが、高い値では、ストロークにボリュームが加わり、浮き出たように目立たせることができます。

**色のバリエーション** (設定可能値が0から100). パラメーターの値を上げることで、いくつかの点の色が変化します。値が高いほど、多くの色に変化し、色でいっぱいになります。

**点の境界部分を鮮明にする**. 点の境界部分をぼかすかどうかを設定するためのチェックボックスです。チェックボックスがオフの場合、点

の境界部分はぼかされ、チェックボックスがオンの場合は点の境界が鮮明になります。

**元の色:** チェックボックスがオンの場合、処理領域の元々の色が使用されます。チェックボックスがオフの場合、ツールバー内の四角に表示されている色が使用されます。色を変更する方法については、後述の該当項目を参照してください。

**効果設定の使用:** このボタンを使用すると、**写真から絵画** への変換に使用した値と同じ値を設定することができます。

**元のイメージの表示** (設定可能値が0から80): 値を上げると、元のイメージが効果の間から見えるようになります。このパラメーターは補助的なもので、ツールブラシを使用してより正確な描画を行うために役立ち、結果に影響を与えることはありません。

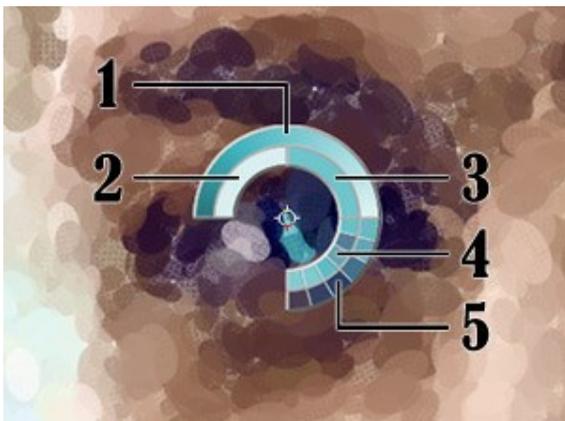


点描効果

点描ブラシの使用

**カラー:** ブラシの色がツールバーの四角に表示されます。ブラシの色を変更する方法は次の2通りです。カラーウェルをダブルクリックして、色選択ダイアログボックスから指定するか、カラーウェルをクリックします (I クリックすると、スポイトツールがアクティブになり、画像内から色を選択することができるようになります)。

画像上のスポイトツールのカーソルには、色をより正確に選択できるように色リングが表示されます。希望の色が見つからない場合、色リング内にある隣接する色を選択できます。Ctrl キーを押しながら色をクリックすると、選択できます。



色リングは、5つに区分けされています。

1. 中心が選択した部分の色を示すグラデーションは、左側は、現在の色に30% 黒を加えたもので、右側は、30% 白を加えたものです。
2. 今現在選択している色を示しています。
3. カーソルがある地点の色のピクセルを示しています。
4. 周囲のピクセルの色を示しています。
5. 選択地点の周囲を平均した色 (時計回りに3x3、5x5、11x11、31x31、51x51、101x101ピクセル四方)を示しています。

**消しゴム**  は、プログラムが描画したものとツールを使用して描画したものを、両方の点を消します。処理領域は、透過度の異なる様々な白色の点で塗りつぶされます。

**サイズ** (設定可能範囲は 1-1000): ブラシで引くラインの幅を指定します。

**硬さ** (設定可能範囲は 0-100): ツールブラシのエッジ(背景との境界部分)によるぼかしの程度を指定します。

**強度** (設定可能範囲は 1-100): ツールが画像にどの程度影響を与えるかの度合いを調整します。

**元のイメージの表示** (設定可能値が0から80): 値を上げると、元のイメージが効果の間から見えるようになります。このパラメーターは補助的なもので、ツールブラシを使用してより正確な描画を行うために役立ち、結果に影響を与えることはありません。



点描効果



消しゴムの使用

**履歴ブラシ**  は、点描効果を弱め、画像を元の状態にリストアします。ツールのモードを選択できます。すべての変更を編集するか、点描効果を維持するツールのみのいずれかを選びます。

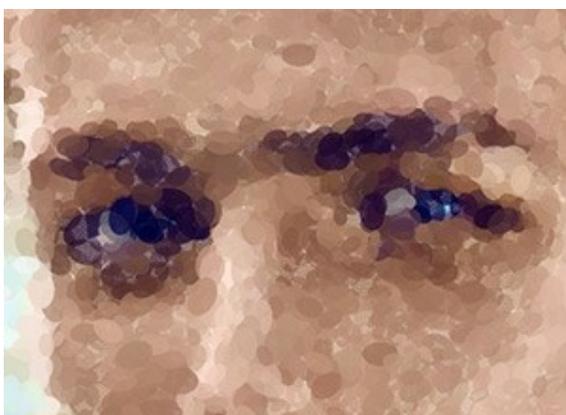
ツールのパラメーター:

**元のイメージにリストア:** このチェックボックスがオンの場合、絵の効果や後処理ツールの効果を弱めます。チェックボックスがオフの場合は、これらのブラシの編集部分にのみ適用(リストア)され、画像処理結果には適用されません。

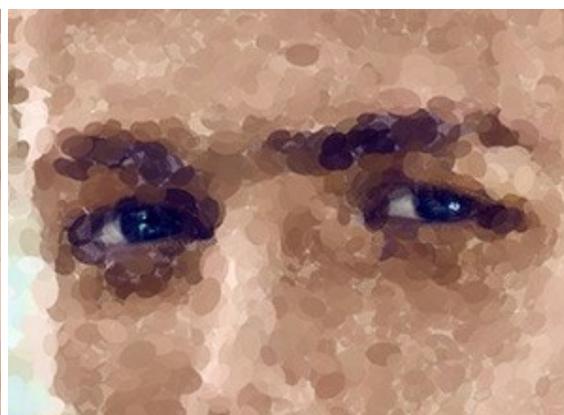
**サイズ** (設定可能範囲は 1-1000): ブラシで引くラインの幅を指定します。

**硬さ** (設定可能範囲は 0-100): ツールのエッジ部分の鮮明度を調整します。値が低いほど、ツールのエッジ部分はぼかしかかったものになります。値が100%の場合、ブラシのエッジと背景の境界がくっきり分かりますが、もっと低い値の場合は境界部分の色の遷移がよりスムーズになり、ぼかしが強くなります。

**強度** (設定可能範囲は 1-100): オリジナルの状態へのリストアの度合いを指定します。低い値の場合は適用した効果とのブレンドが残りますが、100%に近い値の場合はオリジナルの画像に完全にリストアされます。



点描効果



履歴ブラシの使用

**追加ツール** (両方のタブで、すべてのライセンス対応で利用可能):

**手のひらツール**  は、画像を動かしてイメージウィンドウに表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。この操作に対するホットキーは、**H** キーです。

ツールバー上にあるツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージはウィンドウに合わせたサイズで表示されます。

**ズームツール**  を使って画像の拡大/縮小を行います。クリックすると、ズームイン(拡大)します。クリックしながら **Alt** キーも押すと、ズームアウトします。この操作に対するホットキーは、**Z** キーです。

ツールのアイコン  をダブルクリックすると、イメージが100%の倍率(実際の大きさ)で表示されます。

## キャンバスを使用した点描

AKVIS Points では、点描のキャンバスを変更することもできます。しわくちゃな紙、レンガの壁、木などのテクスチャを適用することができます。

**[装飾]** グループの **[キャンバス]** タブに切り替え、**[キャンバスの使用]** チェックボックスをオンにしてください。

ヒント: 装飾効果の適用順を変更するには、**[キャンバス]**/**[フレーム]**/**[テキスト]**の各タブをドラッグして入れ替えます。



点描効果 + キャンバス

テクスチャの選択は、**[ライブラリー]** > **[表面]** から選択するか、手持ちのサンプルを**[ライブラリー]** > **[ユーザー定義...]**から読み込みます。

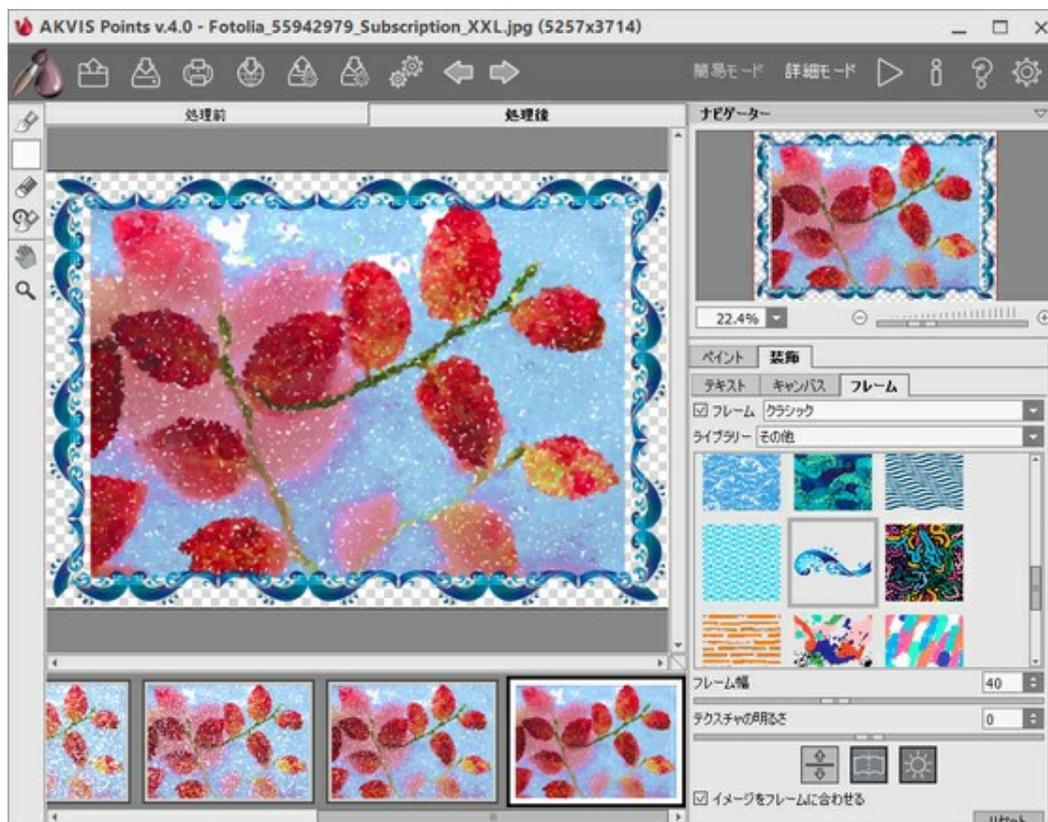
キャンバス設定の調整(AKVIS社 Webサイト上のチュートリアル)。

## フレームの適用

AKVIS Points では、絵画にフレームを追加して、本物の芸術作品のようにできます。

[装飾]グループの [フレーム] タブに切り替え、[フレーム]チェックボックスをオンにし、希望のフレームとテクスチャを選択します。

ヒント: 装飾効果の適用順を変更するには、[キャンバス]/[フレーム]/[テキスト] の各タブをドラッグして入れ替えます。



フレームの適用

適用できるフレームの種類:

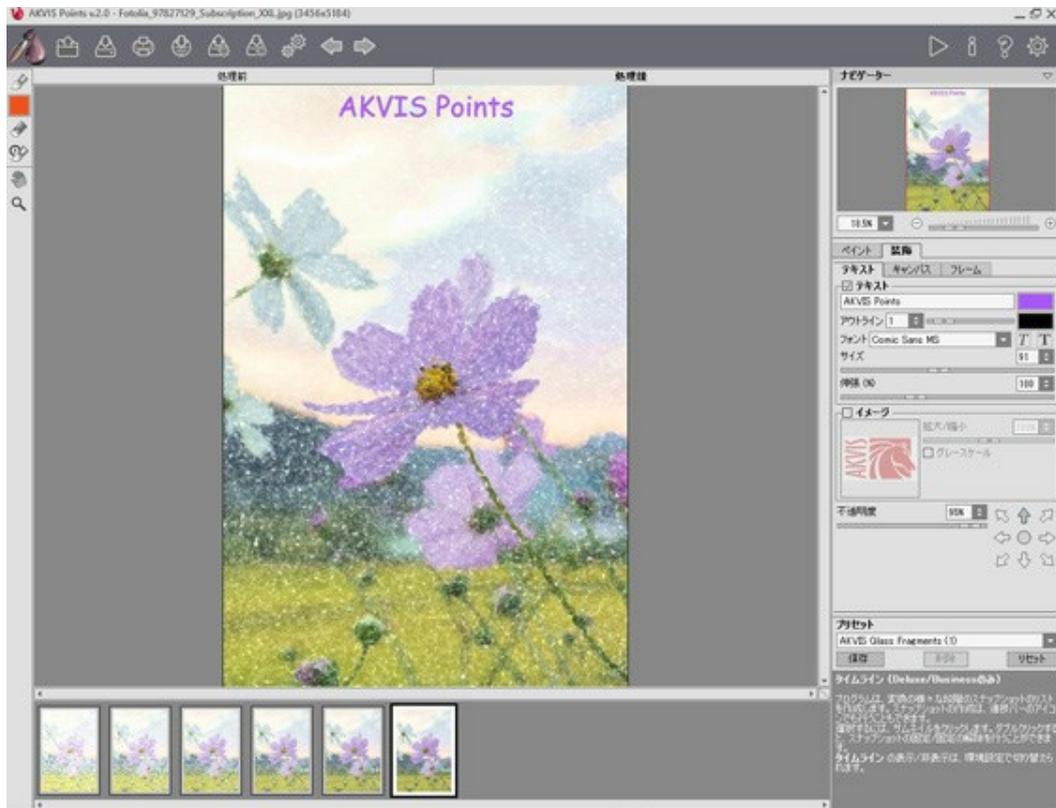
- クラシック
- パターン
- ストローク
- ビネット
- 台紙

## テキストの追加

AKVIS Points では、点描画に署名、ロゴ、ウォーターマークを追加することができます。

[装飾]グループの [テキスト] タブに切り替え、モードの [テキスト] または [イメージ]いずれかを有効にしてください。

ヒント: 装飾効果の適用順を変更するには、[キャンバス]/[フレーム]/[テキスト] の各タブをドラッグして入れ替えます。

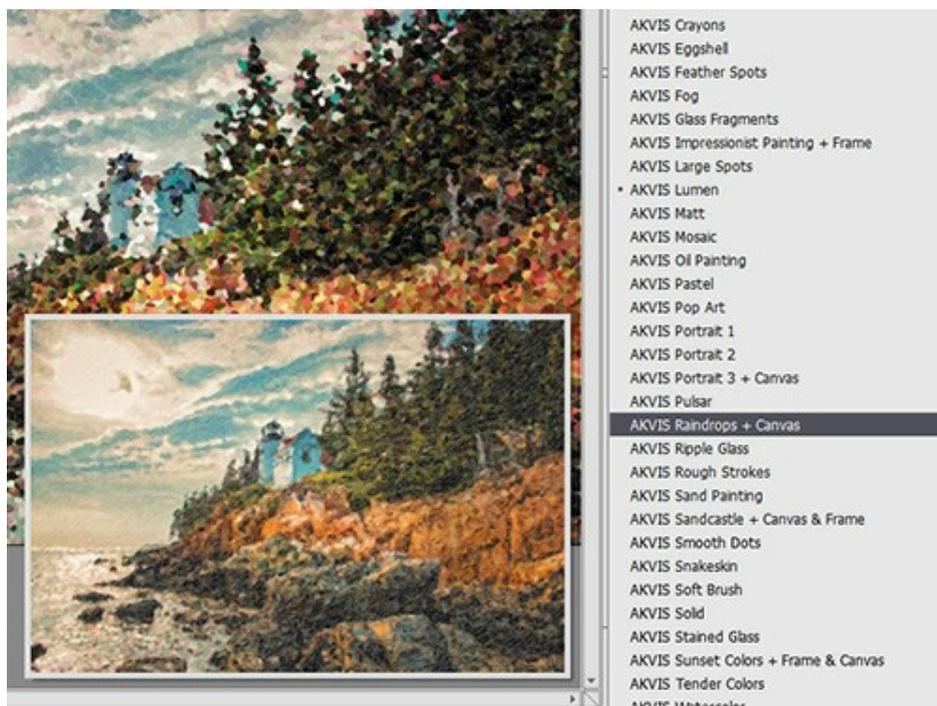


テキストの挿入

テキスト/ウォーターマークの設定を調整(AKVIS社のWebサイトのチュートリアル)。

## プリセットの操作方法

AKVIS Points には、すぐに使えるプリセット(設定のコンビネーション)が用意されており、作業を始めるのに役立ちます。カーソルをドロップダウン リストのプリセット名に移動させると、リストの左側に小さなウィンドウで適用結果が表示されます。



プリセットには、すべての設定が含まれています。

AKVIS プリセットのいずれかを適用するか、パラメーターを希望の結果になるように変更することができます。

独自のプリセットを作成するには、[プリセット]欄にプリセット名を入力し、**[保存]**ボタンをクリックします。

選択したプリセットをデフォルト設定に戻すには、**[リセット]**をクリックします。

プリセットを削除するには、一覧から目的のプリセットを選択し、**[削除]**をクリックします。

AKVIS ビルトイン プリセットは削除できません。

プリセットを **.points** ファイルに保存するには、 を使用します。ファイルからプリセットを読み込みには、 を使用します。

ユーザー プリセットのインポート/エクスポート方法の詳細は[こちら](#)を参照ください。

## プログラムの環境設定



**[環境設定]**ダイアログボックスを開きます。**[環境設定]**ダイアログボックスは次のように構成されています。

**環境設定**

言語 日本語 ▼

インターフェイスの拡大/縮小 自動 ▼

インターフェイス テーマ 明るい ▼

プレビューウィンドウサイズ (ピクセル) 700 ▼

---

処理サイズ制限 (メガピクセル) 10 ▼

---

初期の比率  画面に合わせる  100%

タイムライン ショット 6 ▼

**ヒント パネル**

設定パネルの下

イメージ ウィンドウの下

隠す

---

最近使ったファイル 10 ▼

OS指定のダイアログボックスを使用

コントロールパネルを常に表示

---

OK
キャンセル
既定値

- **言語**: ドロップダウン メニューから目的の言語を選択して変更します。
- **インターフェイスの拡大/縮小**: インターフェイス要素のサイズを選択します。 **自動**に設定されている場合、ワークスペースは、自動的に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- **インターフェイス テーマ**: インターフェイスのテーマを選択します。**明るい**、**グレー** または **暗い**の3種類のテーマがあります。
- **プレビューウィンドウサイズ**: **クイック プレビュー ウィンドウ**のサイズを 200x200 ピクセルから1000x1000 ピクセルの間で自由に設定できます。
- **処理サイズ制限**: このパラメータは、処理するイメージのサイズを一時的に減らすことによって、イメージの処理速度を速めることができます。ファイルサイズ(メガピクセル単位)が設定値以下の場合、イメージは通常通りの処理が行われます。読み込んだファイルサイズが設定値より大きい場合、イメージのサイズを一時的に減らして処理を行った後に、元のサイズに戻します。
- **初期の比率**: このパラメータは、開いたイメージを**イメージウィンドウ**に拡大/縮小する方法を設定します。このパラメータは2つの値のいずれかを設定します。
  - **[画面に合わせる]**: **イメージウィンドウ**に全体が表示されるように、拡大/縮小が調整されます。
  - **[100%]**: イメージは拡大/縮小されません。[100%]に設定すると、ほとんどの場合イメージの一部だけが見える状態で表示されます。
- **<タイムライン ショット**: このパラメータは、イメージ処理中に作成されるショット数を変更します。(Home DeluxeライセンスとBusinessライセンスでは。)
- **ヒント パネル**: カーソルをパラメータやボタンに合わせた場合、それらに関する簡単な**ヒント**が表示されます。ヒントの表示方法に関する設定は以下の通りです。
  - **イメージウィンドウの下**: メインウィンドウ内のイメージの下に表示します。このモードは、ウィンドウの高さが低く、設定パネルの下にヒントを表示するだけのスペースがない場合に便利です。
  - **設定ウィンドウの下**: 右側の設定パネルの下にヒントが表示されます。
  - **隠す**: ヒントの表示する必要がない場合は、このオプションを選択します。
- **最近使ったファイル** (スタンドオン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。最近使ったファイルの一覧は、最も最近使ったファイルが一番上に来るよう順番に表示されます。この一覧は、 を右クリックすると表示されます。設定可能な最大ファイル数は、30ファイルです。
- **[OS指定のダイアログボックスを使用]**チェックボックス: オンにすると、システム指定のダイアログボックス(開く/保存)を使用できます。デフォルトではAKVIS File Dialogに設定されています。
- **[コントロールパネルを常に表示]**チェックボックス: トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。このチェックボックスをオンにすると、パネルは常に表示されます。

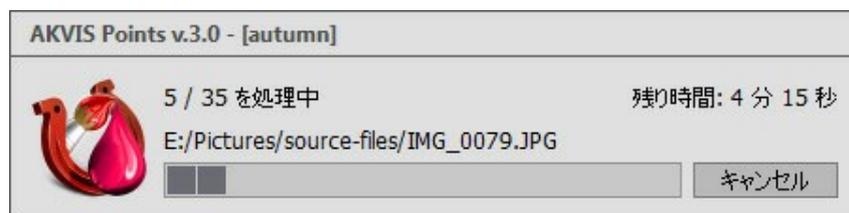
---

**【環境設定】**ウィンドウでの変更内容を保存するには、**【OK】**をクリックします。

既定値に戻す場合は**【既定値】**をクリックします。

## バッチ処理

**AKVIS Points** がサポートしている **バッチ処理** 機能を使用すると、同じ設定で一連の(複数の)画像を自動的に変換することができます。この機能は、同じスタイルで複数の画像を作成するときに役立ちます。本やブログ、さらには、ビデオ(動画)を点描技術を使用した漫画に変換する場合などに活用できます。



AKVIS Pointsのスタンドアロン版をご利用の場合は、[こちらの手順](#)をご覧ください。

Pointsのプラグイン版を Photoshop で使用する場合は、[こちらのチュートリアル](#)をご覧ください。

## 印刷

AKVIS Points のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。

を押すと **【印刷】** オプションが表示されます。



AKVIS

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択肢、希望の解像度と部数を指定します。

**【印刷の向き】**では、紙の方向を設定します。**縦** または **横** から選択します。

**【ページ設定】** をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

**【余白のリセット】** をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、**【比率】**、**【幅】**、**【高さ】**、**【ページに合わせる】**等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、**【比率】**に値を直接入力するか、**【幅】**と**【高さ】**に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、**【ページに合わせる】**チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

**【枠】** を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、**【背景色】** を変更できます。

**【ページ】** タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



ページの印刷

- **【割り付け】**: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- **【水平方向】**と**【垂直方向】**: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- **【間隔】**: イメージ同士の間隔を指定します。

**【ポスター】** タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- **【ページ】**: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれます。
- **【のりしろ】**: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に追加されます。
- **【切り取り線】**: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- **【ページ番号の表示】**: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**【印刷】**ボタンをクリックします。  
変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**【キャンセル】**をクリックします。

## 朝日の昇る風景(点描技術を使用した風景画)

点描技術は、ぼかしのかかった、小さな点の集合でなる芸術的な絵画を作り出すことができます。

**AKVIS Points** を使用することで、写真を素晴らしい芸術作品に変換することができます。さらに、を使って、フレームを付けることにより、一層華やかな仕上がりになります。

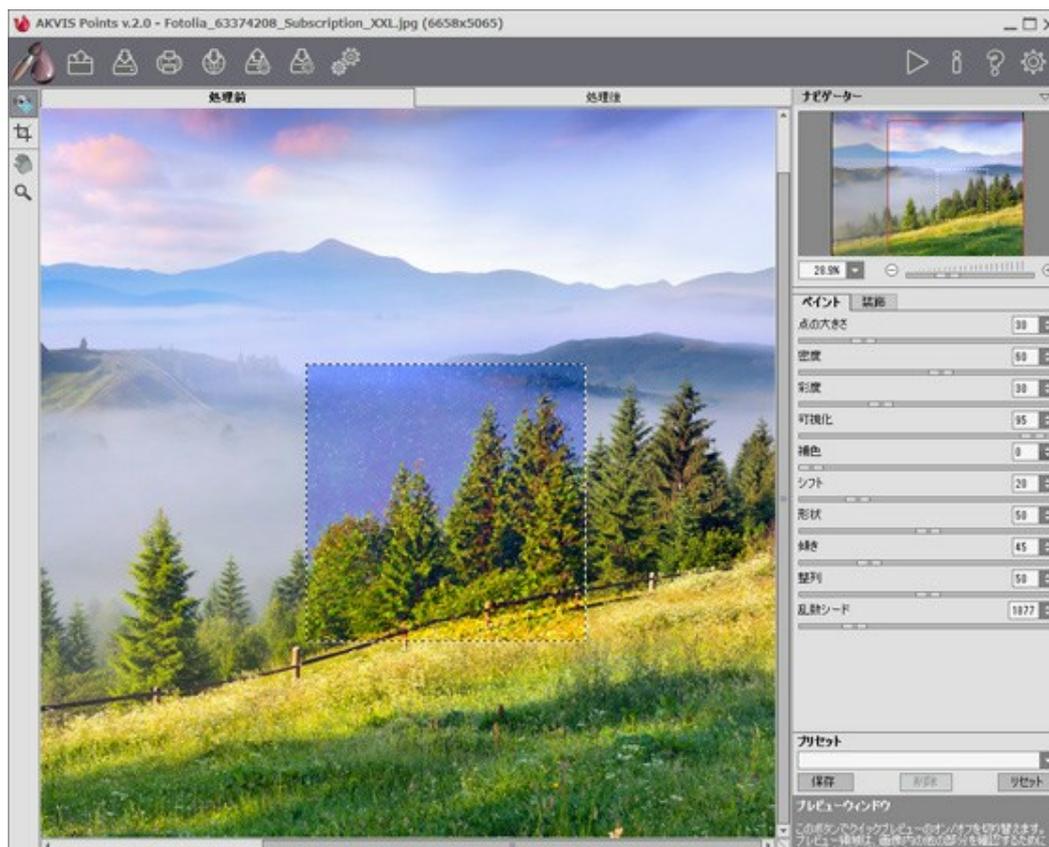


**ステップ1:** AKVIS Pointsで画像を開きます。

**ステップ2:** 効果の設定を調整するか、すぐに使える AKVIS のプリセットから設定を選択します。

**ヒント:** デテールが鮮明で、より正確な結果を得るには、点の大きさを小さく、また明るく設定するといでしょう。写真というより、描かれた絵画のようにしたい場合は、点の大きさを大きくするといでしょう。

この操作例では、点の大きさを小さく設定します。クイック プレビュー ウィンドウには、おおよその結果が表示されます。



AKVIS Points

**ステップ3:** 効果を強めてより芸術作品らしくするには、【キャンバス】タブに切り替えて、テクスチャの設定を変更します。

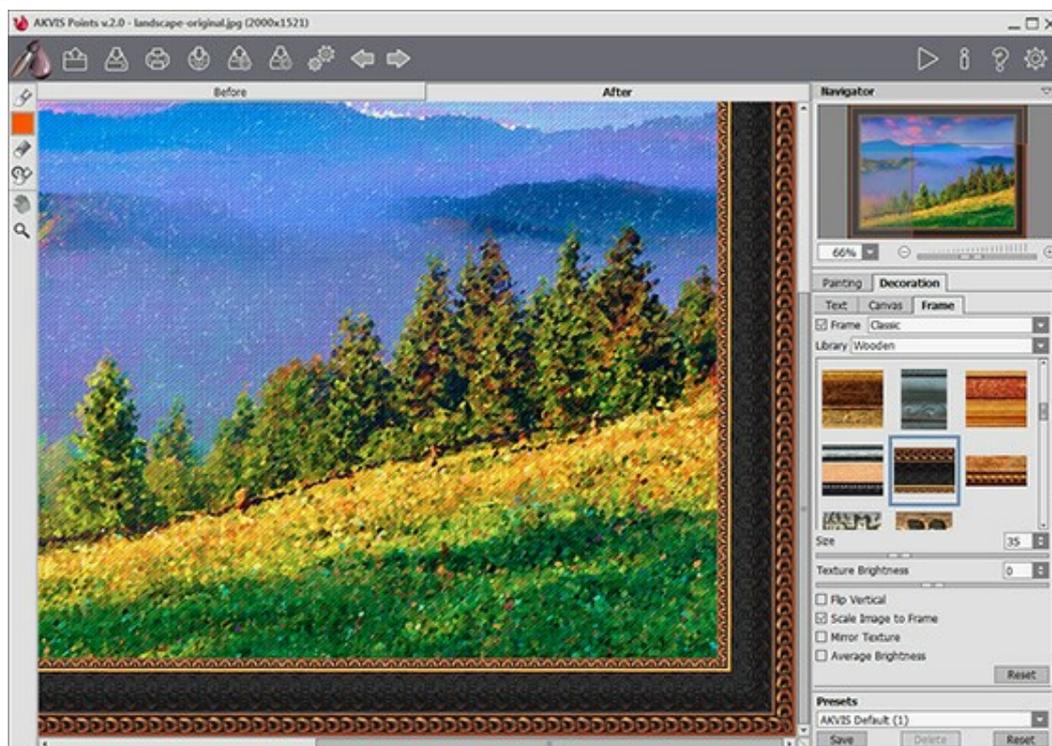


ステップ4: イメージ全体の処理を実行するには、**キャンパス** をクリックし、 をクリックし。



Pointillism Effect

ステップ5: 最後の仕上げとして、フレームを追加することもできます。



フレームの適用



で保存します。

最終的な仕上がりはこのようになります。



点描技術を使用した風景画  
クリックして拡大

点の大きさを大きくした場合の処理結果



点描技術を使用した風景画  
クリックして拡大

## 秋の公園の美しい花嫁

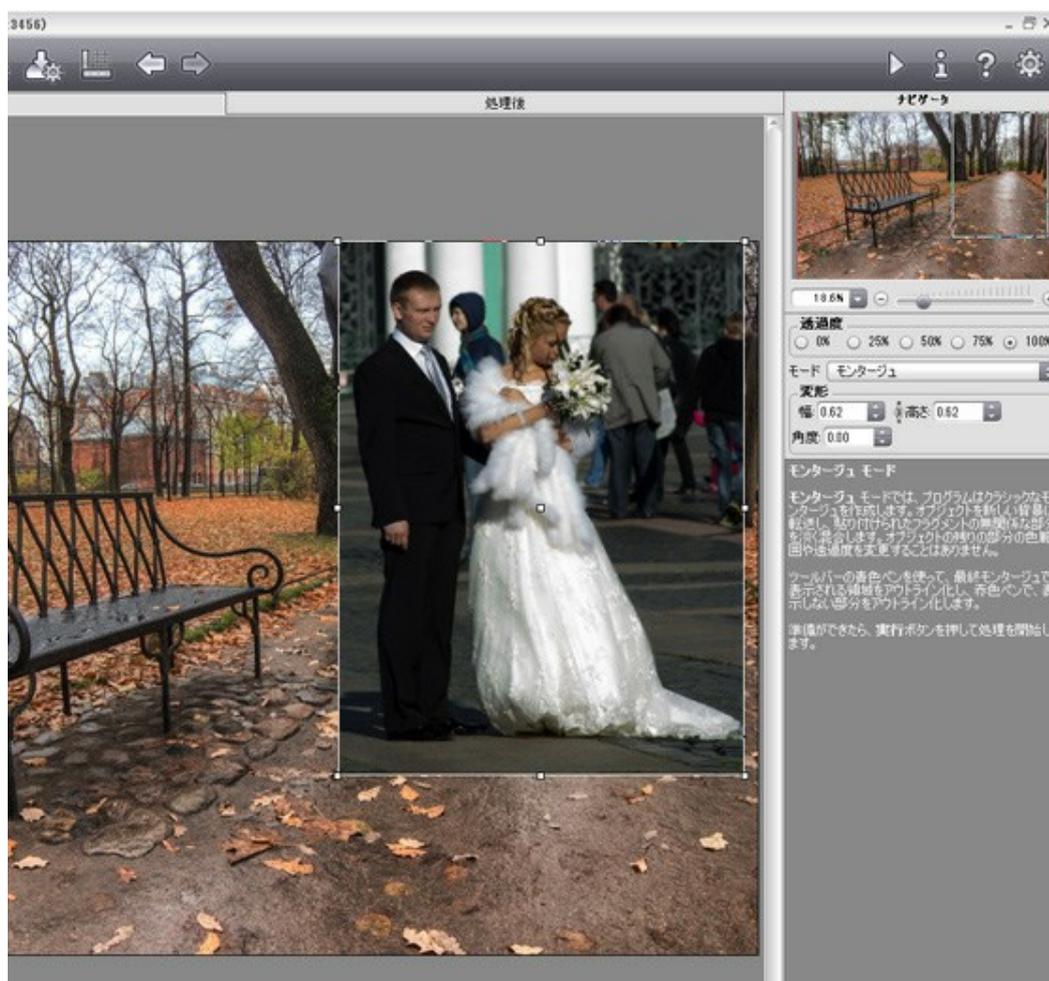
このチュートリアルのは作成者は、ロシアの Alexandr Ilyinさんです。

Alexandr さんは新しい **AKVIS Points** を知り、すぐにその機能を見てみたくなりました。彼は写真コレクションから、秋の公園と若いウェディングカブルの人物写真の2枚の画像を選びました。画像をコラージュして1枚に合成して、点描のスタイルで美しい花嫁の絵を作ることになりました。



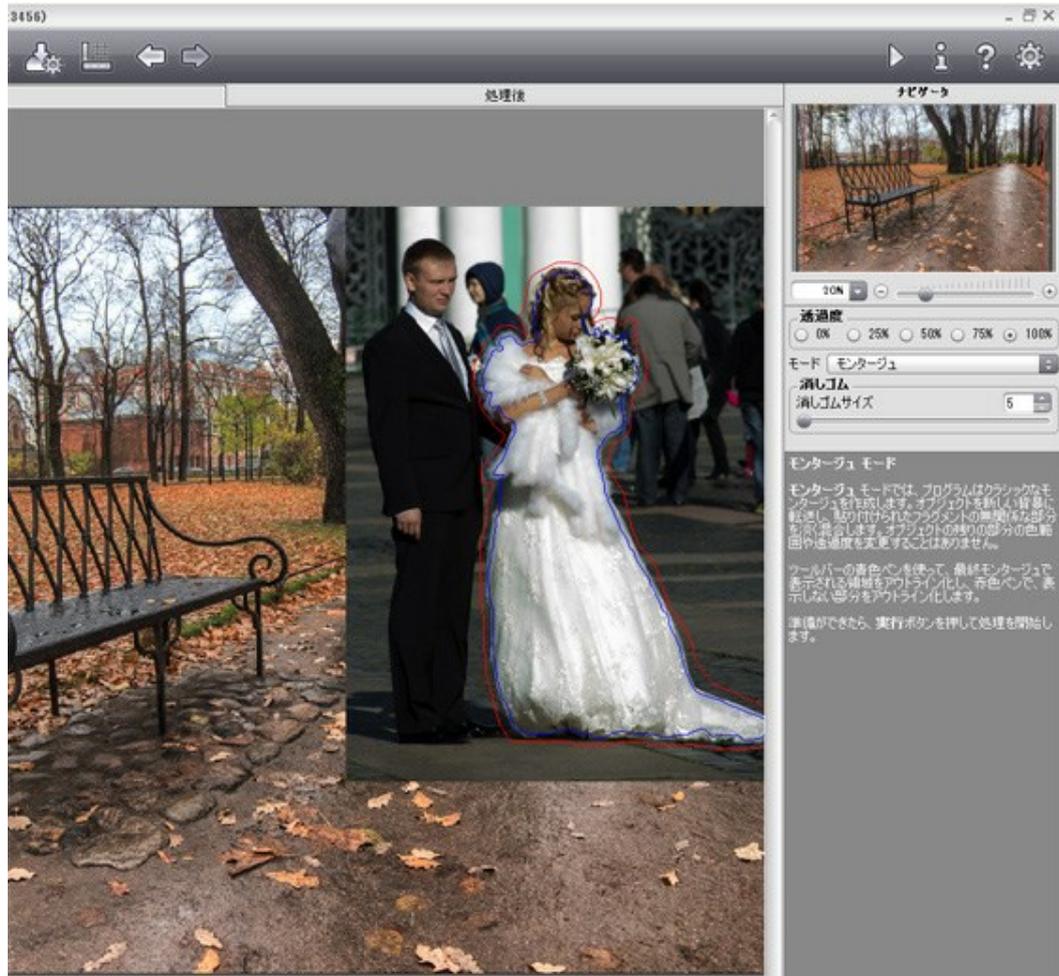
**ステップ1:** 秋の風景は素敵ですが、人物が欠けており、豪華な衣装の人物だとより良いです。ウェディングの写真はいつも刺激的でエレガントです。特別な画像を作成するために最初の写真に花嫁を追加します。

AKVIS Chameleonの **モンタージュ** モードで2枚の写真を統合します。背景として風景画を開き、2番目の画像として人物画を挿入します。



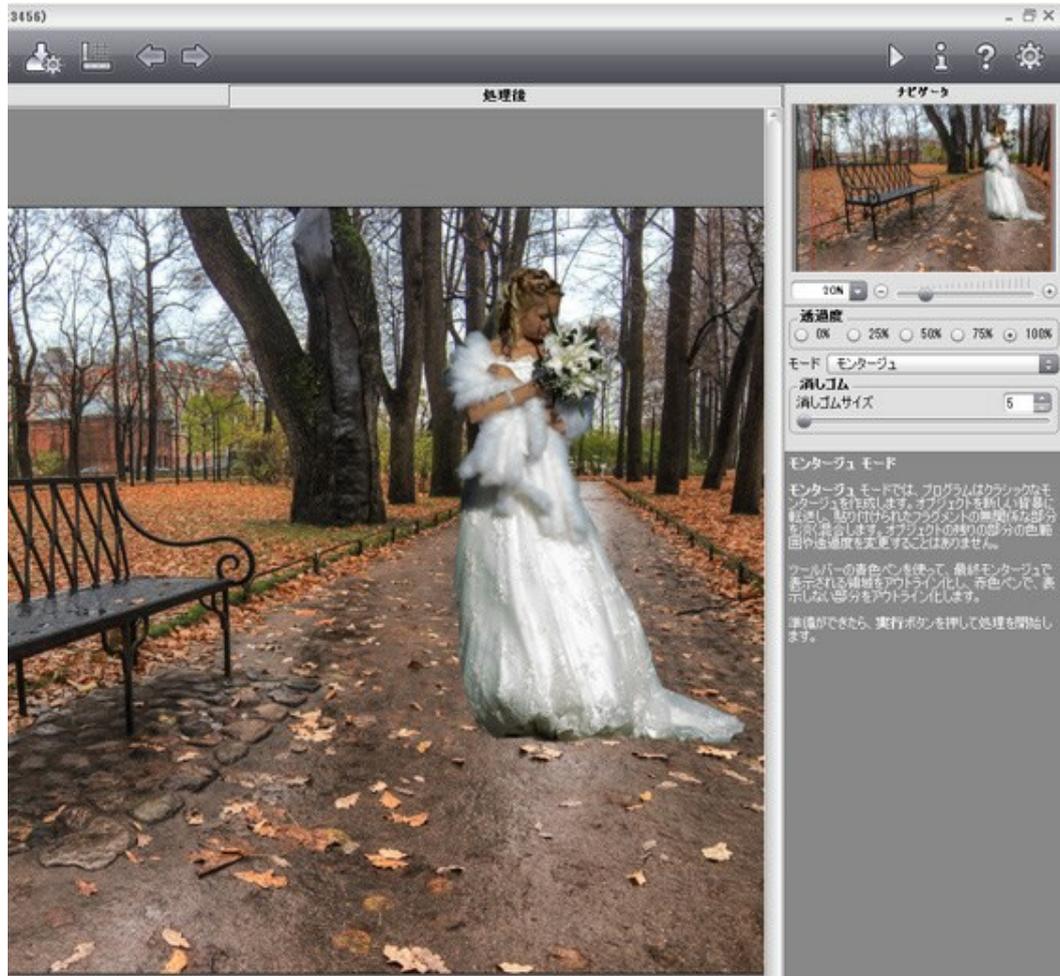
AKVIS Chameleon

青色鉛筆で花嫁を選択し、花嫁以外の部分を赤色鉛筆でマークして消します。



選択ツール

▶ をクリックして、コラージュを作成します。



ステップ2: AKVIS Points でコラーージュを開き、効果設定を調整します。



点描技術を使用した画像  
クリックして拡大

## AKVISプログラム

### AKVIS Sketch Video — 動画を手書き風に変換

(Windows | Mac)

**AKVIS Sketch Video**は、白黒やカラーでビデオ映像を変換するプラグインです。このプラグインで、簡単に手書き風のような効果を手軽に適用できます！ [詳細情報](#)

### AKVIS AirBrush — エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

(Windows | Mac)

**AKVIS AirBrush** は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成する芸術的なフィルタとして動作します。 [詳細情報](#)



### AKVIS ArtSuite — 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

(Windows | Mac)

**AKVIS ArtSuite** は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります！友人へ送るポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になるでしょう。本ソフトウェアには、19以上の基本的な効果が用意されており、効果版を無制限に作成することができます。 [詳細情報](#)



### AKVIS ArtWork — 写真から絵画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS ArtWorkは、様々なペイントテクニックを模倣できるよう設計されています。プログラムは、7 種類のペインティングスタイルを提供しています：油絵、技法、グアッシュ、コミック、ペン & インク、リノカット、パステル。簡単にデジタル写真から名作を作り出すことができます。 [詳細情報](#)



### AKVIS Chameleon — フォトコラージュ作成

(Windows | Mac)

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます：写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡単なものがほしい(コ

ラージュ作成), いらぬ不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。 [詳細情報](#)



### AKVIS Charcoal — 簡単なステップで写真が木炭画になります！

(Windows | Mac)

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違いを使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。 [詳細情報](#)



### AKVIS Coloriage — 白黒写真を色付けする

(Windows | Mac)

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を！

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。 [詳細情報](#)





### AKVIS Decorator — 被写体の模様や色を変更

(Windows | Mac)

AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。 [詳細情報](#)



### AKVIS Draw — 手書きの鉛筆画への変換

(Windows | Mac)

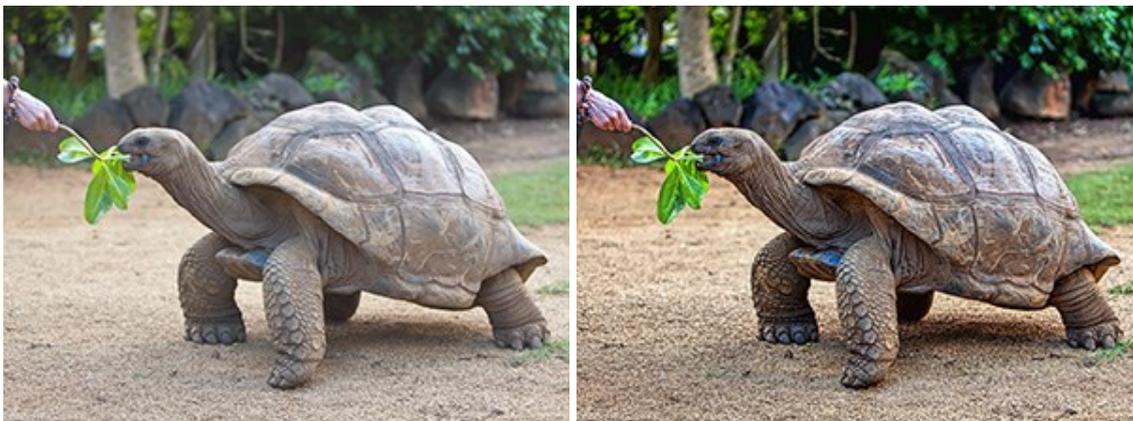
AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します！ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な鉛筆画を作成します。 [詳細情報](#)



### AKVIS Enhancer — 詳細を引き立てるツール

(Windows | Mac)

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。 [詳細情報](#)



### AKVIS Frames — フレームパック

(Windows | Mac)

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます！ [詳細情報](#)



### AKVIS HDRFactory — 実際よりも明るい画像に!

(Windows | Mac)

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを！ [詳細情報](#)



### AKVIS LightShop — 光と星の効果

(Windows | Mac)

**AKVIS LightShop** を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雲に映る反射、暖炉の燻っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに! [詳細情報](#)



### AKVIS Magnifier — きれいに画像解像度を上げることができます!

(Windows | Mac)

**AKVIS Magnifier** を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。Magnifierは、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。 [詳細情報](#)



### AKVIS MakeUp — 理想の肖像画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。 [詳細情報](#)



### AKVIS NatureArt — リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる！

(Windows | Mac)

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりできます！ [詳細情報](#)



### AKVIS Neon — 写真を簡単にネオンのような発光した画風に加工できます！

(Windows | Mac)

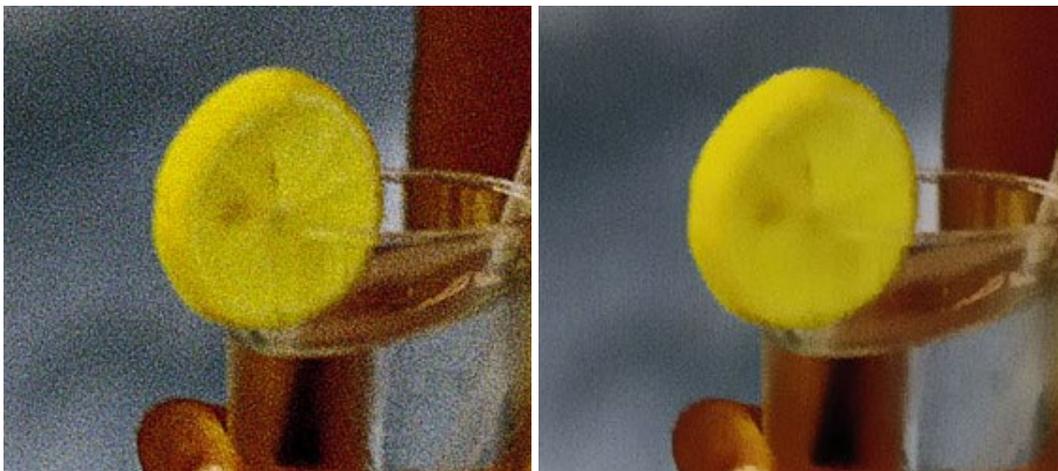
AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くラインエフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます！ [詳細情報](#)



### AKVIS Noise Buster — デジタルノイズリダクション

(Windows | Mac)

AKVIS Noise Buster を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することができ、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。デジタル ノイズが生じる要因はいくつか考えられます。カメラ マトリクスの加熱、長時間露出撮影、スモール ピクセル サイズ (これが原因で、デジタル コンパクト カメラを使用した場合、デジタル SLR よりもノイズの多い写真が生成されてしまう)、高 ISO 設定などがその要因です。 [詳細情報](#)



### AKVIS OilPaint — 油絵効果

(Windows | Mac)

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなアルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。 [詳細情報](#)



### AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

(Windows | Mac)

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。 [詳細情報](#)



## AKVIS Points — 点描

(Windows | Mac)

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画になります! [詳細情報](#)



## AKVIS Refocus — ピンボケの修正とぼかし効果

(Windows | Mac)

**AKVIS Refocus** は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。はっきりした画像であっても、さらに改善できる余地は必ずあります。特殊な効果で特定の部分を目立たせるには、部分指定のツールを使ったピントの調整を行うことができます。 [詳細情報](#)



## AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア

(Windows | Mac)

**AKVIS Retoucher** は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすことができます。 [詳細情報](#)



### AKVIS Sketch — 写真から鉛筆画を作成しましょう！

(Windows | Mac)

AKVIS Sketch は、写真を鉛筆画や水彩画に自動的に変換するためのソフトウェアです。Sketch を使うと、黒鉛や色鉛筆、木炭や水彩の技法を真似て、実際に描いたようなカラーや白黒の絵を作成することができます。 [詳細情報](#)



### AKVIS SmartMask — 選択範囲の作成を簡単にします

(Windows | Mac)

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲用ツールです！ 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。 [詳細情報](#)



## AKVIS Watercolor — 水彩画

(Windows | Mac)

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。 [詳細情報](#)

